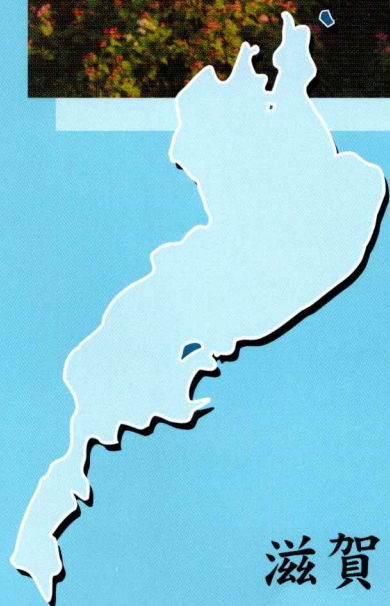


會 報

第 27 号



滋賀県レイカディア大学同窓会

滋賀県レイカディア大学校歌



レイカディア讃歌

(高城修三 作詞)

- 一、近江の最中 青き湖
ささなみ寄せる軽き音
いつまでも尽きることなき
その思い ともに学ばん
さわやかに レイカディア
レイカディア
わがレイカディア
- 二、青垣つらね鈴鹿比良
峰にたわむる白鳥の
いつまでも果つることなき
遊びを ともに遊ばん
うるわしく レイカディア
レイカディア
わがレイカディア
- 三、淡海映す蒼き空
宇宙が見せる深き貌
いつまでも消ゆることなき
その真実 ともに生きなん
かぎりなく レイカディア
レイカディア
わがレイカディア

滋賀県レイカディア大学同窓会憲章

- 一、互いに助け合い、高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう。
- 一、心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう。
- 一、古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。
- 一、会員の研修及び母校の発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。
- 一、社会の発展に即応する高齢者像の具現のために励みあい、提携し合う輪を内外に広めよう。

平成六年七月十一日改定

滋賀県レイカディア大学同窓会

目 次

同窓会長所感 滋賀県レイカディア大学同窓会 会長 戸之洞 貞夫	2
『會報』第27号発刊によせて 滋賀県レイカディア大学 学長 嶋川 尚	3
レイカディア大学再生の動き	4
平成22年度 同窓会本部のあゆみ	7
①事業計画概要 等	8
②必修講座の聴講 ③地域活動事例発表会 ④支部交流G・G大会	9
功労者表彰・受賞の喜び	12
長寿慶祝受賞者「わが人生一忘れ得ぬ思い出」	16
平成22年度 各支部の活動	23
大津支部 草津・栗東支部 守山・野洲支部 甲賀支部 近江八幡支部 中部支部 湖東支部 湖北支部 高島支部	
平成22年度 各支部の活動 そのⅡ（作品展）	32
《特集》支部の一押し	
大津支部	33
草津・栗東支部	35
守山・野洲支部	37
甲賀支部	39
近江八幡支部	41
中部支部	43
湖東支部	45
湖北支部	47
高島支部	50
みんなの広場	52
平成22年度 新入会員の紹介	55
平成22年度 本部役員の紹介	57
物故者を悼む	58
編集後記	59

表紙写真：守山市服部地先「赤そば畑」……守山・野洲支部 第23期生 生活科学学科 高野 隆男氏 撮影



社会構造の変化に対応した 同窓会組織の確立が急務！

レイカディア大学同窓会 会長 戸之洞 貞夫

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、ご家族ご一統様お揃いで希望に満ちた良いお年をお迎へのこととお慶び申し上げます。

同窓会會報第27号の発刊に際し、ご挨拶を申し上げさせて頂く機会を賜り、この上ない榮譽と深く感謝いたしております。

不肖私事、昨年5月、彦根市文化プラザで開催された本部定期総会において、会長職にご推挙を賜り大変恐縮いたしております。お引き受けさせて頂いたからには、会員皆様方の温かいご支援やご協力により、微力ながら同窓会の発展に努力して参る所存であります。どうか変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう衷心よりお願いを申し上げる次第でございます。

さて、昭和53年に呱呱の産声を上げたレイ大同窓会は、今年が目出度く創立30周年という意義ある記念すべき年を迎えることになりました。長い歴史の中で、不屈の精神で幾多の困難や苦境を乗り越えながら、同窓会の基礎を築きあげていただいた先達のご努力のお蔭で今日があることに対し、感謝の念で頭の下がる思いをいたしております。

本部では、30周年記念事業実行委員会を立上げ、記念事業の内容や方法等について縷縷検討を進めている処であります。この事業遂行にあたっては全会員の皆様方とともに祝賀の気持を高め、次の40年への飛躍と更なる発展を誓い合いたいと考えて居ります。

皆様方には大変ご心労をお掛けした「休校」問題も「継続」となり、昨年10月4日には第33期生231名（草津校160名、米原校71名）を迎えて入学式が挙行されました事は誠に喜ばしい事柄でした。反面、今後の学校運営については、経費の削減問題などの厳しい状態にあり、卒業生や在学生の協力によるサポートが欠かせない状況であります。会員の皆様方も我が母校が置かれている状況をご賢察の上、襟を正し真摯にサポートして頂ける体制づくりに協力して頂きますよう切にお願いを致します。

各支部では昨秋、第31期生の新入会者を迎えられて、支部活動も更に充実した活発な気運が漲っている事と存じます。支部活動の充実は同窓会活動の根源でもあります。一日ボランティアやレイボラ活動などで地域活動にも活発に取り組んだ新進気鋭の新会員こそ同窓会の宝であり、地域に根付いた活動の担い手として活躍の場を広げて頂きますよう期待致して居ります。

本部では事業活動の一環として、例年、在学中の学生の皆様方に同窓会の輪郭や活動内容などを周知し、気兼ねなくご入会して頂けるようにとの思いも込め、會報や総会資料などを配布して居りますが、結果としてその意や理解が十分に伝わっておらず 両校共に新入会者が年々減少傾向にある事は、大変残念な事ですが反省いたして居ります。同窓会創立30周年の今こそ千載一遇のチャンスと捉え、癒された魅力のある同窓会、遣り甲斐のある同窓会づくりのために、想像力・連携力・育成力などレイ大で培ちかわれた老人力を發揮して、本部や支部組織のあり方などについても真剣に考え、胸襟を開いて議論を交わしながらより良い方向性を模索し、同窓会の更なる発展に繋いでいこうでは有りませんか。会員皆様方のご理解とご協力を賜れば誠に幸甚です。

最後になりましたが、会員皆様方のご健勝と弥栄をお祈りするとともに、會報「第27号」発刊のご挨拶と致します。



大学の発展を支える同窓会

滋賀県レイカディア大学 学長 嶋川 尚

新年明けましておめでとうございます。

滋賀県レイカディア大学同窓会會報27号の発刊ならびに新年を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

レイカディア大学は、「滋賀県老人大学校」として昭和53年に開設され、今年で34年目を迎えることができました。この間、教室の移転、大学名の改称、学科の見直しなどを経て、現在まで約4,700名の卒業生を地域づくりの担い手としてそれぞれの地域に送り出すという輝かしい歴史を刻んでおります。

このようにレイカディア大学を誇ることができますのも、ひとえに大学に一方ならぬご支援をいただいております同窓会の皆様のご尽力による賜ものであり、あらためて皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、我が国では少子高齢化の進展に伴い、平成27年には4人に1人が65歳以上になると予測されるなど本格的な高齢社会を迎えようとしています。高齢者の方々には地域づくりの重要な担い手として今後ますます大きな期待が寄せられているところでございます。

このように高齢者に対する期待が高まる中、一昨年はレイカディア大学を休止すると県の突然の発表がありました。財政難とはいえ、レイカディア大学を休止することは、単なる休止にとどまらず、地域づくりを担う高齢者を地域に輩出することが極めて困難になるといふ大学開設以来の危機であるといえます。

しかしながら、このような状況に対しまして、多くの県民の方々からレイカディア大学を継続してほしいとの熱い要望が県に届けられました。とりわけ同窓会におかれましては、県知事に直接、大学継続について強く要望していただき、また県社協のレイカディア大学休止に伴う再編検討会にて県へ提出する提案書の礎となる貴重なご意見をいただいたところです。こうした同窓会あげてのご尽力によりまして、県はレイカディア大学の果たしてきた地域活動への貢献や社会的、文化的役割に鑑み、厳しい財政事情ではありますが、卒業生、在校生と協働した運営を行うことでレイカディア大学を継続することを決定いたしました。

さらに、今後の大学運営にとって不可欠となるサポート隊の創設につきましても、同窓会一丸となつてのご協力をいただいているところでございます。

これらのこともひとえにレイカディア大学を愛し、盛り上げていただいております同窓会のお力によるものであり、敬意を表しますとともに重ねてお礼申しあげる次第です。

このような意味におきましてもレイカディア大学同窓会は、高齢者の方々の先頭に立って地域づくりに邁進される貴重な先駆者であるとともに、大学の発展にとって欠くことのできない力強い味方であります。

同窓会の皆様には、大所高所からご意見やご提言をいただくとともに、今後もレイカディア大学をお支えいただきご協力を賜れば誠に幸いに存じます。

最後になりましたが、同窓会の今後のますますのご発展と会員の皆様のご健勝ご多幸を祈念いたしまして、発刊ならびに新年を迎えての挨拶といたします。

レイカディア大学再生の動き

1. はじめに

レイカディア大学関係者にとって晴天の霹靂であった、休校問題が多くの関係者の復活への熱い思いが幸運にも結実し、途切れることなく継続が決定された。

厳しい財政事情の中での決定であり、経費節減と卒業生、在校生との協働運営（サポート隊・後記）を条件に復活された。以下に経過と協働運営の柱であるサポート隊の現況を報告する。

2. レイカディア大学継続への経過（概要）

- (1) 平成21年10月 県は、県財政が危機的な逼迫状況にある中、レイカディア大学の学生募集を平成22年10月分から停止し、平成23年10月（32期生卒業後）から当面休校するとの方針を発表した。
- (2) この方針発表に対して、レイカディア大学同窓会が県知事に直接、大学継続について要望（會報26号で報告）するなど、大学OBや在校生等の多くの県民の方々から継続の要望が県に出された。
- (3) 大学の運営主体である滋賀県社会福祉協議会においては、学識経験者や地域関係団体、企業関係者、レイカディア大学関係者等を構成員とする「レイカディア大学休止に伴う再編検討会」が設置され、平成22年3月、大学再編についての提案書が県に提出された。
- (4) 平成22年5月 これらを踏まえて、県はレイカディア大学の果たしてきた地域活動への貢献や社会的、文化的役割に鑑み、厳しい財政事情であるが、卒業生、在校生との協働した運営を行うことで大学の継続を決定した。
- (5) 平成22年6月 第33期学生募集を開始
 平成22年6月 サポート隊設置に向けての打ち合わせ開催（草津校、米原校）
 平成22年10月 第33期生入学
 平成22年10月 草津校サポート隊発足会（サポーター委嘱）
 なお、米原校サポート隊発足準備中

3. レイカディア大学の継続内容

上記の経過で継続が決定され、その際の主な変更は以下の通りである。

- (1) 入学定員の変更
 草津校：園芸学科：50人（2クラス）、米原校：地域文化学科：なし
 総定員：215人（草津校：145人、米原校：70人）
- (2) 授業料の見直し

現 行	H22年10月～23年9月	H23年10月～
25,000円	35,000円	50,000円
- (3) 卒業生、在校生との協働した運営改善
 サポート隊（別項参照）創設による多面的な運営改善を進める。
- (4) その他
 入学資格の75歳の上限を削除

4. サポート隊について

- (1) 9月24日サポート隊の事前説明会がサポート隊応募者137名の参加を得て実施された。ここでサポート隊設置要綱、活動規約および具体的説明がなされた。そして、サポート隊隊長に増山元彦氏（園芸30期）副隊長に三輪益三氏（生活科学31期）が選出された。続いて、サポート隊発会式を10月20日に実施することも決定された。
- (2) 10月20日サポート隊発会式と各部会がスタート

1) レイカディア大学の嶋川 尚学長より、サポーターへの3年間の委嘱状が手渡され、正式にサポート隊（草津校）が始動した。



この全体会議で嶋川学長、増山会長から挨拶があり、発会式を無事に終えた。

(各部会長の紹介)

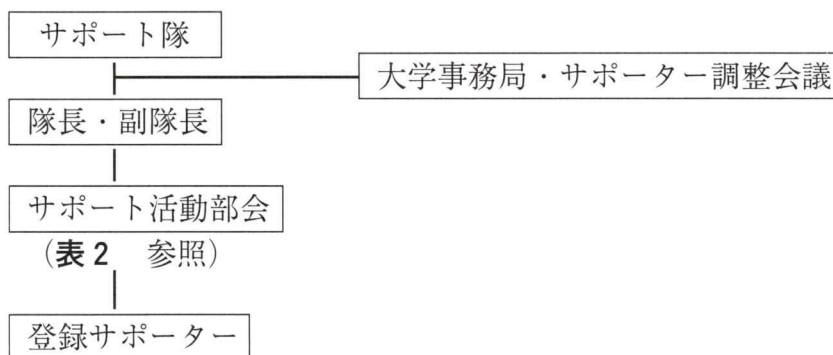
2) その後、6部会長（右の写真）の紹介があり、各部会に分かれて、初会合が実施され、部会活動がスタートした。事前に募集したサポーターの応募状況を表1に示す。

表1 レイカディア大学草津校 サポーター登録数（10月20日）

	31期	30期	29期	28期	～27期	計（人）
園 芸	19	18	14	5	3	59
陶 芸	4	11	7	3	2	27
生活科学	19	19	5	4	1	48
地域文化(文芸)	19	14	18	2	2	55
健康・レク(スポ・レク)	11	13	4	6	1	35
計 (人)	72	75	48	20	9	224

3) サポート隊（草津校）の体制

レイカディア大学復活の条件であるサポート隊体制について、学校事務局や直近の卒業生である30期、31期の有志により、その体制の骨格を固めるべく協議が続けられてきたが、9月度の準備委員会から同窓会代表2名（大津支部長、守山・野洲支部長）も正式メンバーとして協議に参画し、このほどその体制が固まった。概要は次の通りである。



- ・活動部会に部会長を置く
- ・登録サポーターは選択講座部会と他の部会の一つに所属する
- ・サポーター活動部会の活動内容は大学事務局と協議し決めていく

- ・サポーター活動調整会議は役員（隊長、副隊長、各学科代表、副代表、総務局長、部会長、在校2年生学科長）、大学事務局、同窓会代表者で構成し、サポート隊のあり方、内容、方法についての協議調整を行う。
当面月1回開催する。

表2 各部会の部員（意向調査実施し配置）（10月20日）

部 会	部会員
必須講座部会	69
事業部会（年間行事関係）	40
地域活動促進部会	44
広 報 部 会	25
情 報 部 会	25
選択講座部会（5学科）	（全員）
（未回答他）	21
計（人）	224

4）滋賀県レイカディア大学（草津校）サポート隊設置要綱（案）の一部紹介

（目的）

第1条 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会は、滋賀県レイカディア大学（草津校）卒業生等と協働して、高齢者が時代の要請する実践的な新しい知識、教養を身につけ、地域の担い手として登場できるよう大学運営の発展に資することを目的として滋賀県レイカディア大学サポート隊（以下サポート隊という）を設置する。

（サポート内容）

第2条 サポート隊は前条の目的を達成するために次のサポートを行う。

- (1) 講師としての指導・補助
- (2) 講座等の企画・運営への参画
- (3) 教務事務・業務のサポート
- (4) 地域活動の推進に関するサポート
- (5) 大学等の活動に関する情報収集と発信
- (6) 学生募集等に関する広報活動
- (7) その他、前条の目的を達成するための必要なサポート

5. おわりに

第33期生の授業が10月から始まり、サポート隊も草津校で立ち上がり、活動を開始した。多くの課題を抱えての船出だが、力を合わせて、この新しい課題に挑戦し続ける必要がある。

同窓会としても強い関心を持ち続け、各人のそれぞれの立場で積極的な支援活動を展開しなければ、また次のピンチが来る可能性がある。

そして、同窓会活動も今回の事を契機に、活動のありようを見直すチャンスととらえて進む必要がある。

平成22年度 同窓会本部のあゆみ

1 平成22年度 本部定期総会

平成22年度本部定期総会は、去る5月15日（土）湖東支部担当のもと彦根市文化プラザで開催。県下より207名の同窓会員の参加を得、来賓には県レイカディア振興部長福田氏、宿久課長並びに彦根市長を迎え盛大に開催されました。

議案はいずれも原案通り承認され、記念講演には長浜城歴史博物館の太田浩司先生より「石田三成の生涯と業績」の演題でご講演をいただきました。



◀ 新会長挨拶



▲ 新役員紹介



▲ 来賓の方々

太田氏の
記念講演▶



▲ 奥村前会長に感謝状贈呈



1-① 平成22年度 事業計画概要

月 日	事業の概要
5月15日	本部定期総会 於：彦根文化プラザ
7月30日	草津校における同窓会入会説明会
8月5日	米原校における同窓会入会説明会
8月26日	米原校講座聴講
10月2日	支部交流グラウンドゴルフ大会 於：彦根市荒神山GG場
1月13日	草津校における講座聴講
1月15日	『會報』第27号発行（修正）
2月	「地域活動事例発表会」於：レイカディア大学 米原校
3月	「地域活動事例発表会」於：レイカディア大学 草津校

1-② 平成22年度 予 算

1. 収入の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	405,924	
会費収入	1,260,000	700円×1,800名
合 計	1,665,924	

2. 支出の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	内 訳
会 議 費	250,000	総会費 200,000 その他会議費 50,000
旅 費	200,000	各種会議出席者交通費
事 務 費	50,000	事務消耗品費 30,000 通信費・雑費 20,000
慶 弔 費	350,000	褒賞費、弔慰費
事 業 費	630,000	総務部費 130,000 研修部費 100,000 広報部費 400,000
予 備 費	185,924	
合 計	1,665,924	

3. 特別会計基金 402,163円+当期利息

2 レイカディア大学 必修講座の聴講

レイカディア大学卒業生である講師が、地域活動に積極的に取り組んでおられることを、31・32期生の後期必修講座として担当され、同窓会会員が聴講させていただきました。

◎米原校 8月26日(木)

- テーマ「八幡堀の水浄化の取り組み」
- 講師 琵琶湖お魚探険隊
代表 丹波 喜徳 氏



3 第2回(後期) 地域活動事例発表会

平成22年2月27日(土) 13:30~16:00

於：レイカディア大学 草津校

『瀬田源内峠遺跡復活かつどうから子どもの郷土史の生きた体験学習まで』

古代製鉄炉の復元かつどうをテコにして、生きた郷土史体験学習までの多彩な活動報告。

松田 文雄さん
(大津支部・25期・スポレク学科)



『子供たちからパワーをもらって』

子供広場で明るくはざむ子供達の声に、私達スタッフも元気づけられ幸せな時間を過ごしている。
小泉 一夫さん(草津・栗東支部・23期・スポレク学科)



3 第2回（後期） 地域活動事例発表会



「手作り紙芝居の実演」

「手作り紙芝居」を通して小学校児童、高齢者、障害者施設等、地域社会との交流・啓蒙活動の実施紹介。

西村 紘夫さん

(守山・野洲支部・30期・地域文化学科)

西村美代子さん

(守山・野洲支部・30期・地域文化学科)

小山 康夫さん

(守山・野洲支部・30期・地域文化学科)

「湖南省ちよいスポクラブ設立」

「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」
住民による楽しいスポーツクラブ

九條 親道さん（甲賀支部・28期・スポレク学科）



≡「ヨシ笛の音色を聞いて身体を癒そう」≡



“吹いてヨシ
聞いてヨシ
心にヨシ”

地域のイベントや介護福祉施設等の訪問演奏を通して命、環境、自然の大切さを発信している。

濱頭 國男さん

(高島支部・26期・園芸学科)

4 第12回 支部交流グラウンドゴルフ大会

恒例となった支部交流グラウンドゴルフ大会を10月2日（土）、湖東支部の方々の準備万端に渡りのご協力により、彦根市荒神山公園運動施設「グラウンドゴルフ場」において、開催しました。

当日は、秋日和に恵まれ、支部対抗戦から交流と親睦を計ることに変わり4年目を迎えて、参加11チーム77名の選手は、和気あいあいの内にプレーが進みました。

また本年は、在校生の方にも参加要請をしたところ米原校より参加を頂きました。

整備が行き届いたコース、加えるに選手の技術向上からホールインワンが続出、38個も出て、個人で3回された方がおられました。

総務部



本部GG大会 於：彦根荒神山

【団体戦順位】

順位	支部	合計総打数
優勝	近江八幡支部	483
準優勝	湖東支部	496
三位	守山・野洲支部	503
敢闘賞	湖北支部(A)	513
々	中部支部	513
々	湖北支部(B)	518
々	大津支部	519
々	レイ大米原校	530
々	高島支部	557
々	甲賀支部	561
々	草津・栗東支部	(416)※

※草津・栗東支部 選手1名不足

【個人戦順位】

順位	支部名	氏名	総打数
一位	近江八幡支部	山口正美	55
二位	湖北支部(A)	竹林春雄	59
三位	守山・野洲支部	宮川良知	60
四位	湖東支部	山城利文	63
五位	守山・野洲支部	鳥居義樹	63

功労者表彰・受賞の喜び

本年度定期総会における功労者表彰は、各支部から選ばれた1名ずつ、計9名の方が受賞の栄に浴されました。日ごろのご活躍の様子、今後の抱負などご寄稿ねがいました。



大津

一期一会のご縁から

第21期 生活科学学科 梅景 宏

この度は「功労者表彰」過分の栄に浴し、ありがとうございます。レイ大在学中は、楽しく生き甲斐のある日々を過ごさせていただきました。60才を過ぎて昔の学生時代にタイムスリップして、第二の青春を謳歌、多くの方々と交流友好を深め、引き続き同窓会では今もなお、ご交誼をいただいています。まさに一期一会のご縁、同窓会では支部役員のみならず、年々歳々新入会員をお迎えして仲間作り、新しいパワーに元気をいただいています。会員の皆

様にいろいろな情報をお伝えし、作品展の設営や支部ボランティア部の活動、研修、スポーツにも参加しています。活動の中で会員の皆様のお力添え、友情、連帯感が高まっていくのを実感、素敵な仲間の一員になれたことを誇りに思います。レイ大の「建学理念」の地域交流、地域福祉では、民生委員を12年間務めています。会員皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げて、お礼のご挨拶とさせていただきます。



草津・栗東

功労者表彰を受賞して

第19期 文芸学科 木下 忠夫

この度は、支部推せんをいただき、功労者表彰の受賞身に余る光栄と感謝しています。

平成7年に地域ボランティアとしてデビュー、福祉ボランティア活動に関わり15年今日に至りました。その間平成8年にレイ大文芸学科に入学させていただき学習、何よりも「益者三友」まことにめぐまれた環境の中での2年間であったと、改め実感しているところであります。

卒業後もOB会、趣味、俳句等を通しての

交遊の間口が大きく開かれました。特筆は、地域ボランティア活動を展開する中での諸行事の推進に当たり、講演講師又地域ガイド等々についていろいろ先輩又学友のお知恵を拝借しての運営を重ね経験いたしました。

傘寿を迎え、佳節の受賞となりました。生涯現役の気概の維持を確認し乍ら一日一日を大事にして参りたいと考えております。

終わりになりましたが、同窓会のご発展と会員のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。



守山・野洲

功労賞を受賞して

第20期 文芸学科 園 昭男

この度功労者表彰の光栄に浴し、心から感謝しております。私のレイ大卒業後の支部活動が同窓会のために、果たしてどれだけお役に立てたか、省みまして甚だ忸怩たる思いですが役員や多くの会員の皆様のご支援のお陰と厚くお礼を申し上げます。

本部総会での表彰は勿論、琵琶湖プラザでの支部総会会場で朗々と詩吟で受賞を讃えられたときは、思いがけなかったことだけに面映ゆさと同時に感激も一入でした。

これからも、できる限り引き続いて地域

の自治会活動などに参加し、お役に立てるよう頑張っていきたいと思います。

なお、本年度当初から、その成り行きを心配しておりました県の財政事情によるレイ大休校の措置は撤回され、同窓生として喜びに堪えません。この問題解決のために賜りました関係者の方々のご尽力に対し衷心より感謝申し上げますと共に、今後のレイ大の益々の発展を祈念いたしまして、受賞の喜びの言葉といたします。



甲賀

私の感慨深き9年間

第20期 文芸学科 松本 秀一

甲賀支部理事として、初めて会議に出席したのは、平成10年4月でした。場所は碧水荘と言う古い建物で、板の間に敷物をしき机を並べた質素な所で、初めてお会いする先輩諸氏に緊張し乍ら席に着きました。其処で私が感じたのは、会議が実に静かに進行し、皆様大変和やかで奥床しさが漂った良い雰囲気でした。この品格こそが我が同窓会の理想そのものだと直感致しました。そうして多くの先輩から親しくご指導頂いた事が、今も心の奥深く残っています。

やがて甲賀支部も会員の努力によって、更なる前進を遂げ、私が支部長をお受けした時期には、皆んなで楽しく活動すること

に心掛けました。然し私の務めたこの9年間は、先輩をはじめとする会員皆様のご指導とご協力があればこそ成り立ったもので、私個人が受賞するのは些か逡巡の思いもありましたが、これは甲賀支部全体で頂いたものと考え、ありがたくお受けした次第です。



近江八幡



受賞のよろこび

第19期 生活科学学科 馬場 つた

この度は思いがけない受賞にあずかり、身に余る光栄・喜びで一杯でございます。私を育てご指導下さった同窓生・ご先輩のお陰様と深く感謝致しております。わが馬淵学区は年令を召した方や健康上の都合で、私は平成14年から現在迄八年間「役員」として言い替えれば「あるき」として自転車で飛びまわり

交流させて載いて参りました。成果展・旅行・グランドゴルフ・料理教室・手芸等滅多に休まずに励んで参りました。本当に嬉しい、生涯のいい思い出です。そのお陰で沢山のお友達が出来わたしの宝物です。有難うございました。余生は古文書の勉強を致したいと思っております。ボケ防止の為にも。



中部

余生を楽しみながら

第19期 文芸学科 大久保忠彦

今年度の総会に於いて、功労者表彰を戴き身に余る光栄と感謝の気持ちで一杯です。心して今後とも頑張ってお行きたく存じます。

私は、7月に喜寿を迎えたばかりで、健康で居られる日々を感謝すると共に、余生は日頃温めている目標に向かって、更に意欲的に取り組んで行こうと努力して居ります。

以下に関する内容は、既に「中部支部だより」（第21号 p 3）にて紹介しましたが、畑地の雑草防止対策に関する試作品作りです。現在も自然と対話をしつつ、防草シート関連

諸製品の開発改良に取り組み中であり、特に夏場のこの時期は多忙の毎日です。

今後とも、作業性、耐久性、適応性、経済性、生産性等々に関し追求して行く必要があります。多忙な余生となっております。

今のところ、家族、特に妻の協力無くして進めることは出来ないのが実状であり、日々笑顔で感謝の毎日を楽しんでおります。

最後になりましたが、皆様方のご健康と、ご多幸をお祈りしてお礼の言葉と致します。ありがとうございました。



湖東

韻きあいつつ

第15期 文芸学科 野上 雄三

この度、図らずも本部総会に於いて功労者表彰の栄に浴し恐縮いたしております。私が支部長として在任中に規約改正等を行ったこ

となどを評価していただいたようです。

レイカディア大学の前身で滋賀県立老人大学校の校歌（伊藤雪雄作詞）に

「すがやかに 老いを学びて 淡海に 韻きあいつつ 明日をひらかん」とありました。同窓会の役目は、まさにこの「韻きあい」の場としての存在ではないでしょうか。学んだことを実践し、更にそれを学びあって向上させ、社会のお役に立ててゆく。そんな場とし

ての同窓会でありたい。そう考えて支部長在任中、後々の役員が活動し易いようにと支部規約の一部改正を手掛けました。まだまだ不十分ですが、レイ大の存続も決まりましたことです。同窓会の更なる充実を期待したいと思います。



湖北

功労者表彰受賞の喜び

第18期 文芸学科 小谷 敏夫

この度は、はからずも受賞の栄に浴し、誠に身に余る光栄と感謝の気持ちで一杯です。

これひとえに、皆様方の温かいご支援があればこそと衷心より厚くお礼申し上げます。

レイ大第18期文芸学科を平成9年に卒業後、同窓会湖北支部に入会、以来、支部の事業・活動等に積極的に参加するよう前向きに勤めて参りました。

丁度、副支部長に就任、広報部長を担当いたし、「会報こほく」の発行に当たり、今迄は文芸作品・感想文を掲載されていたのを改めレイ大各学期・各学科の方々それぞれの活

動の取り組み状況や現在の活動状況、更に、湖北支部の動き等を掲載する広報・機関誌的な「会報こほく」第10号の編集計画を策定し、これが湖北支部の今後の発展に寄与することになればと編集発行にこぎ着けました。

取り組みの苦労が生かされ、現在につなげて頂いていることに思いをいたしております。

これからも、元気に同窓会活動に参加し、学びを生き甲斐に励んで参りたいと存じます。

今後のレイ大同窓会の益々のご発展と会員皆様方のご活躍をご祈念申し上げましてお礼の言葉といたします。有難うございました。



高島

功労者表彰を受賞して

第11期 園芸学科 大江 利雄

去る五月十五日、レイ大同窓会総会の席で奥村会長さんから「表彰状」を頂戴いたしました。顧みますと、町教育長を辞した昭和五十四年春、老人大学へ入学いたしました。いくつかのコースがありましたが、園芸コースへ進みました。過去の肩書きをはずしての裸のおつき合い、講師の先生は、近江商人で有名な五個荘の辻先生。先生の話では、自分の家は京都室町のおたな（店）であったが、園芸の道へ進んだと。先生のお宅は大きな屋敷で、

土蔵が三棟も奥に並んでいた。

老大での学習は、県庁前の厚生会館三階の一室に、ビニールシートを敷いて、教材はすべて先生が五個荘から運んで下さった。大へんくわしく親切なご指導を受け、帰宅してから、お教えを受けた通りを再現して、特に正月の門飾り等を楽しんでいます。公民館活動にも参加して多くの人と有意義に歩んでいます。

ありがとうございました。

長寿慶祝受賞に際して

わが人生—忘れ得ぬ思い出

米寿をお迎えの28名の方々に、総会席上で長寿のお祝品が贈られました。
過ぎし日を振り返り、忘れ得ぬ思い出をご披露いただきました。



わが人生 わすれ得ぬ思い出

大津支部 第11期 園芸学科 小西 久子

歳を重ねますと昨日まで出来たことが出来なくなることがあります。心が折れる思いがすることが多くなる所以でしょう。ただ、出来ないことを嘆いてばかりいても仕方がないと考え方を改めて見ますと、今までの苦痛が嘘のように消え去ることがあります。

私がいつも求めてきたことは、人に喜んで頂けることです。田舎で土地を買い求め、

二十年来取り組んだ土壌改良で漸く収穫できた無農薬の作物をお世話になった方々にお届けしたことは一つの大きな思い出です。

心の美しい友人、勉強は出来なくとも心優しい子ども達、私を理解してくれる夫、そして学びのある生活。この幸せに囲まれて日々を過ごせることが出来ている今が一番幸せです。



忘れ得ぬ思い出の1つ

大津支部 第14期 文芸学科 松井猪一郎

長寿祝を戴きありがとうございました。

戦後の国民総貧困時代の悪夢から醒めて、金さえ払えば何でも手に入った世の中の飽食時代に暴飲暴食を重ねた罰が当たり、糖尿病の烙印を押されて以来35年余に亘り、目下闘病中ではありますが、概して健康体であると自認喜んで居ります。これ迄の思い出と言えれば何れも悲喜交々で沢山あります

が特に印象深かったこととしては、平成13年秋の叙勲に浴し案内状に従って11月13日家内同伴で上京・半蔵門会館に出席、勲章伝達式と祝賀昼食会後、係官の案内で皇居豊明殿に参内、陛下に拝謁して、受章者と同伴妻女の双方に慶祝と内助に対する慰労のお言葉を賜り感激の極みでありました。ことです。



わが人生—忘れ得ぬ思いで

草津・栗東支部 第11期 生活科学学科 古川千鶴子

今年5月、彦根での総会に参加させて頂き、米寿の慶祝を受け大変嬉しく、感謝致しております。レイ大入学より仲良くして頂いた方と、卒業後も共に趣味の和紙ちぎり絵を修得し、自宅・公民館で講師を務めました。よき生徒さん達に恵まれ、楽しく、充実した日々でした。その後体調を崩しやめましたが、今迄通り交

流も続き、有難く思っています。

幸福は心身の健康が大切と、新聞、月刊誌に掲載のクロスワード、パズル、数独の解答。パソコンでフリーセル等のゲームを愉しんでいます。周りの温かく優しい支えもあり、無理せず自分の出来る事を前向きに取り組み、悔いのない余生を過ごしたく、がんばっています。



米寿のお祝いを頂いて

守山支部 第22期 生活科学学科 奥村美智子

この度は総会の席上米寿の私達に慶祝の言葉とお祝いを頂き有難く御礼を申し上げます。

私は民生児童委員の県役員の頃よりこの役目を終えればレイカディア大学へと夢をもち念願かない第22期生として入学し常に前向きで生甲斐のある2年間学ぶ事ができました。現在は湖月会と言う名のもとに度々食事会や

グラウンドゴルフにと旧交を暖め至福の一時を味わう事ができこの上ない喜びと感謝で一杯でございます。

荒んだ世の中ですが私達高齢者は社会に甘える事なく自立の覚悟と努力で暮らしやすい社会を目指し若い人と一緒に頑張りたいと願っています。同窓会の皆様の益々のご多幸とご健勝をお祈りし御礼の言葉とさせていただきます。



シベリア抑留

甲賀支部 第18期 園芸学科 林 大次郎

天皇陛下の勅命による終戦、内地送還の夢も消え病魔と戦い乍ら徒步行進でソ満国境、貨車に押し込まれて着いた所がハバロフス地区シベリア収容所でした。体力選定検査で2級労働者として伐採、道路構築、枕木工場、集団農場等点々と移動強制労働に服し肉体的精神的疲労苦は筆舌に表し難く特に1日の作業実績量による翌朝のパンの大小差別給與は

忘れられない。悪条件のもと疾病死亡者も日毎に増しソリに乗せられていづれかへの搬送の姿をよく見ました。奇しくも私は母国へ送還帰国し故郷で両親兄弟等と再会は忘れられない感激の一瞬でした。56万人の抑留者誰もが何故捕虜的抑留か、強制労働か今でも疑念と怒りが解けない心境にあると思います。

終わりに長寿慶祝の品有難く御礼申し上げます。

公衆電話の活用について

甲賀支部 第14期 スポレク学科 高田晋太郎

早朝に震度4程度の地震が発生し、驚いて、弟が淡路地区に在住しており、心配でした。幸いにも大津市内におり、長男が、公衆電話で連絡をとり、無事が確認されました。自宅の電話は、全て保留となり、通じませんでした。

災害時の通話に公衆電話の活用が大切です。公衆電話は、各支所に配置されていますので、充分活用して下さい。また、公衆電話を活用する場合は、若干の硬貨が必要です。硬貨入れを常備して下さい。



わが人生—忘れ得ぬ思い出

近江八幡支部 第8期 文芸学科 山路正太郎

“人生80年”を優に超え、米寿を迎えることができました。さて先日は本会より、長寿の御祝を頂き有り難く厚く御礼を申し上げます。

この長い年月を振り返りますと、やはり多くの仲間を失った冷酷で悲惨な戦争の忘れ難き思い出であります。尊い多くの命が奪われ、一人ひとりの未知なる人生が閉ざされてしま

ったのは無念なことでありました。

今改めて、生かされる自分の人生に深く感謝するのみであります。

今後も、古くからの友人、知人との交流を大事にして、一日一日に感謝しつつ過ごしていきたいと思っております。



米寿を迎え ただありがたく

近江八幡支部 第12期 生活科学学科 金子 美紀

この度はOB会からお祝いを戴きありがとうございました。思い返せば生存競争激しい大正の世に生を受け、成人近かりし頃は戦渦の真ただ中でした。私も渦中を東京で学生寮におりましたが連日の空爆の中を右往左往した記憶が今も彷彿と脳裏に蘇る想いがします。然し戦時下で得た体験は自らの人生にとってかけがえのない財産であると信じております。

戦後も六十数年が過ぎ平和な日々の中で高度成長、インフレ、デフレ、バブル、色々な言葉で表現される歳月を夢中で駆け抜け感一入です。改めて今日米寿の齢迄生かされた自分がある事の幸せをかみしめて1日の無事に感謝し乍ら残された時間を意義深く全うしたいと思っております。

合掌



「日々是れ好日」に感謝して

近江八幡支部 第14期 園芸学科 木村三千郎

関東大震災の年に生を受け妻と共々、米寿を迎えることになり、去る5月同窓会より長寿の祝いを戴き、誠にありがとうございました。大正・昭和の代は苦しい日々でしたが、最後は「光陰矢の如く」65年が過ぎました。永年の間、苦楽を共にしながら私としては「日々是れ好日」常々感謝しながら、今日まで生活

が出来ました。神佛の加護と多くの社会の方々の御厚情の賜と深くお礼を申し上げます。

経済大国・長寿国と国民の平均寿命は年々延びる社会になりました。今後は余生を大切に若い人々に迷惑をかけないように心掛けるとともに、レイカディア大学同窓会のご発展と会員ご一同様の御多幸を祈念申し上げます。



忘れ得ぬ思い出

近江八幡支部 第13期 生活科学学科 高柳 治子

この度思いがけず米寿の御祝いを頂き有難うございました。父母の年を遙に越え、多少立居振舞が覚束なくなりましたが、恙無く日を送っています。之も大勢の人々のお陰と支えがあればこそと感謝の他なく、又過ぎ来し方を振り返ってみるよい機会でもありました。私にも私なりの八十八年があり多くの出会いや

出来事が思い出されます。特に長い病臥の後、引き籠もり勝ちな生活を送っていた私を新しい生活を始める良いきっかけを作ってくれた友だちがあります。会報12号の“古稀を迎えて”のこの友達の一文を読み一緒に米寿を祝ったかったと沁々思っています。唯之からは自立した生活が出来るよう健康に気をつけ長寿を祝福される人生を全うしたいと思う此の頃です。



満州事変と2・26事件

中部支部 第14期 陶芸学科 岡田 弥彦

昭和6年9月柳条湖の満鉄線路爆破を口実に関東軍が満州事変を起こした。この戦で突撃した3人の兵士が肉弾3勇士として国を挙げて賞賛された。昭和7年日本は満州国建国宣言をした。小学校が近いので放課後教室へ行くと先生が世界地図を降ろして「満州という国が出来たんや」と言って中国東北部を桃色に塗っておられた。今も鮮明に覚えている。

昭和11年(6年生)には皇道派青年将校が下士官兵1,400人を率いてクーデターを起こした。2・26事件である。その朝学校へ行くと組長が「お～いお前ら、えらい事が起きたでよ！」と事件を話してくれた。以来日本は終わりの見えない暗い戦争に突入し、空前の敗北を迎えることになる。

中部支部 第9期 園芸学科 高木 新蔵

毎度お手数をかけ申訳ありません。
春から体調悪く3回手術して肝腎共悪く、

通院療養している次第で同窓会原稿の件うまく書けませんのでよろしく願います。



思いのままに

湖東支部 第14期 生活科学学科 岸 和江

さる五月の定期総会の席にて私事長寿のお祝いを頂き有難うございました。紙面をおかりして厚く御礼申し上げます。お陰様で八十有余年神佛のお守り、家族や皆々様のお陰で病気もせず健康に恵まれ暮らさせてもらえる事に日々感謝致して居ります。振り返れば昭和二十年七月に主人に召集令状がきて結婚して以来六十五年の年月が過ぎ主人も健康で二人で畑仕事も出来野菜作りを楽しんで居ます。

家族の協力のおかげで三十年余、微力乍らも民生委員、PTAボランティア、老人クラブ等の役職を曲がりなりにも務めさせて貰えた事を私の喜びとして感謝致して居ります。

後人生も“残り少ない”と思い一日一日を大切にまわりに迷わくのかからない様に暮らしていきたいと願って居ります。神佛に感謝致しつつ
合掌



卒業して20年そうして現在

湖東支部 第11期 スポレク学科 近藤 進勇

この度は同窓会の集いの席、長寿のお祝いを受けお礼申し上げます。11期生は米原校の初めての卒業生でスポレク学科もこの時、誕生した新しい学科で担任の草川一枝先生のご苦勞を忍び感謝しております。現在では毎週木曜日に筋力トレーニング（貯筋日記クラブ）で体力増強に励み又車椅子社交ダンス普及会（ひこねせぶんクラブ）でボランティア活動

に参加して居ります。町内の由緒ある地藏堂のお守り役を町の要請を受け7年間修業させて頂きいろいろな方々との出合いをさせて頂いて参りました。これからも多くの人々との交流を深め意義ある余生を送りたいと思っております。最後になりましたが更なる会の発展をお祈り申し上げます。



わが人生忘れ得ぬ思いで

湖東支部 第19期 文芸学科 川副 郁夫

近代日本の歩みは明治以来、日本帝国主義となり大東亜戦まで続いた戦争の歴史そのものでしたがその激流に流された1人が自分であり数限りなく戦死した戦友の生き残りとして今の世に在る者として少し記して見たいと思います。ガダルカナルの撤退が、始まる頃海軍に入団首都守護のため久里浜沿岸に展開した34人の1員として任務の達成に尽力したものです。敗戦後の幾多の苦難を乗り越えつ

つも行政の要職甲良町長として2期粉骨砕身努力させて頂きましたが数多のブレーンのお陰で恙無く任期を終えたことが何よりも忘れ難き思い出です。そして第19期レイ大生として特に書道で上野先生のあつい御指導により人並みに修得させて頂いた事は先生への御恩の深さと共にレイ大の存在価値の偉大さを示すものとして特筆申し上げるものです。

甚だ拙文乍ら私の寄稿とさせて頂きます。



日々を大切に

湖北支部 第14期 生活科学学科 稲館ひさを

生かされて生きる命の有難さ人の一生とは長くそして短くと様々である。御陰様にてこの年にまで生かされ思いもよらずレイ大から米寿の御祝いを頂くとは夢にも思いませんでした。折角の式典にも体調をくずし欠席致し残念に思います。戦中戦後の物資食糧すべてに不足の毎日でしたがそれでも一寸した楽しみを見つけて平々凡々乍ら今日まで暮らして

来られた事に感謝しなければと思います。レイ大へ通学出来た事、講義や実技等楽しい勉学でした。

そして遠方の人達との交わり深い友愛感が心許した生涯の友達として楽しくお付き合いさせて頂いて居ります。本当にレイ大のお陰と感謝して居ます。これからも一日一日を大切に楽しく暮らして行き度く思います。



姉妹都市訪問 長浜市親善使節団に参加して

湖北支部 第15期 生活科学学科 高山かをる

この度は長寿の御祝いを賜り誠にありがとうございました。ドイツのアンクスブルグ市と姉妹都市を結んで、40年を迎えるに当たり文化使節として訪問。日本市会場で日本の伝統文化を紹介し、華道部では花を届け、茶道部では一服の抹茶を召し上がって戴き、書道部では色紙に漢字や希望される字を書いてプレゼントしたり、着付け部では背の高いお嬢様に振袖を着てもらったり、邦楽部では大正琴を聞いて戴いたり大活躍で大きな成果を収める事が出来ました。夜はホストファミリーの方に迎えられ三日間お心のこもった御手

づくりのご馳走を戴きました。イタリアのヴェローナ市、オーストリア、水の都ベニチヤ等訪問最高の喜びを得る事が出来ました。最後の夜は支庁舎の黄金の間へ行きました。彫刻と金箔が輝き、天井と壁面には中世の絵画が画かれ、その豪華絢爛さに二千年以上もの歴史の重みを感じると共に、アンクスブルグ市の温かい歓待に感激しました。今回の訪問での種々の経験や多くの人々との出会いと感動を財産として今後の生活に生かしていきたいと思っております。お世話下さった皆様様に感謝感謝です。 以上

わが人生—忘れ得ぬ思い出

湖北支部 第7期 生活科学学科 西嶋スミエ

この度長寿慶祝に際し、この歳まで生かされてきた事に感謝の一言です。レイ大に入学して本当に楽しく思いでは生きる支えになったと思います。地域活動の中で支部の親しい友達もでき人生の出会いから得たもの改めて

自分の人生をふりかえるとき昨日のように鮮明に想いだし悔いの無い人生が過ごせたと思います。

レイ大の今後ますますの発展を願い御礼の言葉とさせていただきます。

出会う喜びと感謝

湖北支部 第6期 陶芸学科 中川寿美子

念願の陶芸を学ばせて頂きました。作品ひとつひとつのこの重みは、その時々先生の指導や仲間達とのやりとりがぎゅっと詰ま

っています。形となった物たちと今も生活の中で共に過ごさせて頂ける事に感謝します。ありがとうございます。



忘れ得ぬ一生の思い出

湖北支部 第16期 スポレク学科 廣田安太郎

丁重なる長寿慶祝賞を頂き有難う存じます。翻って出生よりの人生を回想すれば、悲喜交々の人生でした。前半は軍国主義、華やかなりし時代でした。私も厳しく常識では考えられぬ軍隊生活を経験致しました。戦後各学校の同窓会名簿を閲覧し同級生の戦死者が多いのに驚き、彼等の冥福を衷心より祈りました。十六期で戦後50同年の年に沖縄旅行があり、近江の塔に献花し、塔の裏面を見た時同級生

の名があるのに仰天、彼は私に他と異なる出生の秘話を打ち明けてくれる仲でした。何故この空、海が青くこの清浄で山紫水明の地で戦死するなんて感傷的になった事を今でも脳裏に焼きついて居ます。何時いつまでも平和を希求致します。



本年度の長寿慶祝受賞者のうち、7名の方からは諸事情で原稿が頂戴できませんでした。お名前のみご紹介します。

支部	氏名	学科	卒期
草津・栗東	服部 光枝	文芸	18期
守山・野洲	浅野 穰	園芸	10期
甲賀	大北 忠一	陶芸	8期
近江八幡	大橋 忠夫	園芸	15期
中部	堀井準之助	園芸	19期
湖東	岡部 安三	園芸	14期
湖東	橋本 武浩	園芸	16期

大津支部

地域発信型活動への挑戦

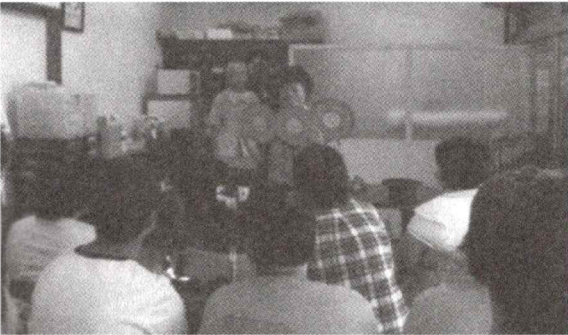
大津支部は、地域社会とのつながりを一層深めることを目的に、これまで進めてきた諸活動を市民も参加できる活動、市民にも楽しんでいただける活動へ発展させようとしています。
地域発信型活動のいくつかを紹介します。



◆大津まちなかスッキリ士隊 (H22/9)



◆大津生涯学習フェスティバル (H22/10)



◆大津生涯学習フェスティバル (H22/10)



◆マジックサークルの出前演技 (H22/8)



◆文化作品展 (H22/3)

- 写真で紹介した活動のほか
- ☆ディスコンの普及
 - ☆パソコン同好会
 - ☆囲碁等対局ボランティア
 - ☆絵手紙サークル
 - ☆川柳サークル
 - ☆フォトウォーククラブ
- なども活躍中です。



◆公募陶芸教室 (H22/10)



◆レイカ大津紹介ポスター

各支部の活動

本年は、会員各位の意見や特技を生かして、魅力ある同窓会づくりへの努力をしてまいりました。

第一段階として多くの催しを開くことにし、次年以降も引き続き具体化していきたいと考えています。

★支部総会・懇親会 (総務部担当)

4月16日 於：アヤハレクサイドホテル
21年度報告・22年度計画の審議後、草津総合病院山口先生に「歯科治療」の講演をしていただきました。その後和気あいあいとした懇親会で盛り上がりました。



★作品展・活動展 (文化部担当)

3月5日～7日 於：草津市立図書館
102点の出展があり、一般の方の鑑賞も多くありました。活動紹介も4件あり、名前に相応しい発表となりました。



★グラウンドゴルフ大会 (体育部担当)

(春季) 5月19日 於：草津市弾正公園

(秋季) 9月25日 於：草津市弾正公園

人気のスポーツで、参加者が多く、いつも体育部が頑張っています。ホールイン・ワンゲームを行うなど、工夫をこらし、交流を深めています。

会員の特技を生かし、交流を深め、 楽しい催しを開きました。

★初心者レクレーションダンスの集い
3月29日 大路市民センター
(リーダー20期スポレク八木正勝さん)

★初心者陶芸体験の集い
2月22日 山寺天井窯
(山寺天井窯の会員の皆さん)

★歌声サロン
1月20日、3月24日大路市民センター
(music 26期スポレク杉本弘子さん)

★三上山ハイキング
12月7日 三上山
(28期スポレク古市美佐枝さん)

★ディスコン(ニュースポーツ)体験の集い
3月18日 レイ大草津校
(滋賀県ディスコン協会の皆さん)

★機関紙「かわらばん」発行 (広報部担当)

2か月に1回、会員の諸活動の紹介、支部の予定と結果の連絡など機関紙の使命を果たしています。

★地域活動事例発表会

(本部研修部担当)

2月27日 23期スポレク小泉一夫さんの社会貢献活動「子どもたちからパワーをもらって」と題した、感動の発表でした。



★研修日帰りバス旅行 (研修部担当)

●新入会員歓迎 (総務部担当)

11月29日 クレフィール湖東(東近江市)研修旅行と新入会員歓迎会を兼ねた新しい催しです。ふれあいの旅(交流)、お互いの学び、遊び(グラウンドゴルフ)など楽しい1日でした。

グラウンドゴルフ小コンペ兼 花見親睦昼食会開催

守山・野洲支部

4月9日（金）川田コースで今年も恒例の「グラウンドゴルフ小コンペ兼花見昼食会」が39名の参加をえて、開催されました。



鳥居義樹氏



竹富妙子氏



崎山益雄氏

成績は次の通り

優勝	鳥居	義樹氏
準優勝	竹富	妙子氏
第三位	崎山	益雄氏
BB賞	紀田	栄子氏

12回 作品展開催

4月22日（木）～26日（月）・守山市立図書館で開催され41名の会員より85点の出品があり

多くの来場者が訪れ、好評を博しました。



ボランティアグループ紹介 レイカ野洲

「レイカディア大学」で学んだ仲間が集まって2008年に結成されました。現在の会員は37人。2年前から野洲図書館横のビオトープの管理を行っています。

春にはライラックとユキヤナギの白い花が咲き誇り、初夏にはホタルが飛び交うビオトープになり訪れる人々の目を和ませてくれます。

4月10日（土）レイカ野洲主催の「図書館ビオトープ親子自然観察会」が開催され、祇王学童保育所の親子26組が参加、庭園内の植物や池に住む魚や虫を観察。大盛況でした。

毎週第2土曜日午前中、図書館の一室を借り受けその日の反省会やコーヒを呑みながら親睦を深めている。どなたでも参加大歓迎！

一度立ち寄ってみませんか？



野洲市立図書館
ビオトープ

甲賀支部

1. 「平成22年度 甲賀支部 定期総会」

4月28日（水）甲賀市水口町水口中央公民館にて開催
講話「認知症を学び、地域で支えましょう」
水口地域包括支援センター 竜王真紀氏

参加者30名

2. 「第1回 甲賀支部 会員グラウンドゴルフ大会」

7月1日（木）水口町 野洲川GG場にて開催

参加者19名

3. 「第3回 守山・野洲支部との交流親睦GG大会」

8月20日（金）守山市川田町 野洲川河川敷 川田GG場にて開催

参加者10名

4. 「第2回 甲賀支部 会員グラウンドゴルフ大会」

9月1日（水）湖南市親水公園GG場にて開催

参加者22名

5. 「平成22年度 趣味の作品展」

10月14日（木）～15日（金）湖南市石部文化ホールにて開催

出品数 62点 出展者22名

6. 「新入会員歓迎会」

10月14日（木）湖南市石部文化ホール
会議室にて開催

講話「湖南市の歴史と文化」と題して
湖南市甲西図書館長

氏丸隆弘氏 参加者25名



新入会員歓迎会

7. 「一日研修旅行」

10月26日（火）

奈良・平城遷都1300年祭会場、
東大寺大仏殿見学

参加者25名

8. 「ウォーキング」

11月5日（金）甲賀市 飯道山に登山

参加者9名



ウォーキング

9. 「甲賀支部だより」 (第10号)

3月1日 発行



平成22年度趣味の作品展



研修旅行

1. 21年度後半の実施事業

- 湖東三支部親善グラウンド・ゴルフ大会参加
(甲良町運動公園) 11月19日
- 料理教室「老人向き惣菜」 参加者15名
12月2日
- 押絵教室「雛人形」 参加者17名
22年2月19日
- 生活講座「高齢者の権利を護る—相続と遺言」
参加者42名 22年2月22日
- 郷土現地研修会—市内の観光スポットを巡る
参加者14名 22年3月4日
- ニュースポーツ大会 (運動公園体育館)
カローリング、ビーンボール、輪投げ、ペタンクなど 参加者23名 22年3月24日
- ☆ 1月から近江八幡レクリエーション・ダンスの会立ち上げ試行中、以後、月2回開催
(第1、第3月曜日午後開催)

近江八幡支部



作品展
22.9.30~10.2



総会

2. 22年度 事業

- 支部定期総会開催 来賓6名、
支部会員出席者49名 22年4月26日
- 支部グラウンド・ゴルフ大会
参加29名 22年8月3日
※10月2日の交流大会(彦根市)では
近江八幡支部が初優勝
- 新入会員歓迎会 22年9月15日
新入会員17名中15名と支部役員・地区役員等25名
併せて40名が出席、自己紹介のあと、執行部から
支部の現況、年間行事等について説明。
新入会員にお祝いとして洋菓子を進呈。
- 押絵教室 参加者14名 9月22日
来年度のえとの兎の色紙額の製作
- 支部会員作品展 9月30日~10月2日
ひまわり館1階大ホールで開催 出展者37名



31期生の皆様(22.9.15)新入会員歓迎会



近江八幡支部GG大会

中部支部

① 4月22日……

定期総会開催（延命荘）

事業の報告と計画、会計の報告と予算
 （案）新旧の役員の変更
 新役員は持ち回りにて平成22～23年は
 能登川が担当
 アトラクション・昼食会



東近江市能登川公民館第52回文化祭に協力出品

② 5月28日……

第二回理事会（延命荘）

レイカディア大学の存続決定の件の報告
 中部支部の基本方針の決定（青木支部長報告）
 ・同窓会活動は、各分会との情報交換が主体です
 ・具体的な活動は各地域での奉仕活動が優先する
 平成22年度の事業計画について検討する
 ・歩こう会は参加少数のため本年度中止
 ・支部の旅行も懇親会に肩代わりして中止



③ 8月31日……支部懇親会開催（延命荘）

記念講演 “草の根福祉の実態とネットワーク創りについて”
 あったかホーム鳥仲 岡田隆恵氏よりご講演（一時間半）
 昼食会の後、手品・よし笛・踊り・ゲーム等でお楽しみの会

※当日は、第31期の卒業生も招待する予定でしたが最終の授業のため13名中3名様
 の参加で残念でした

当日は、中部支部だより第23号を発行し配布いたしました。

22.10.27(水)
 レイカディア大学同窓会
 4支部親善グランドゴルフ大会
 於：東近江市栗見新田町地先
 ふれあい運動公園

④ 9月10日 中部支部親睦グランドゴルフ大会開催

能登川ふれあい運動公園にて 各分会より51名様参加 猛暑たけなわの日でしたが、水分
 補給を注意し好評で終了する 10月27日の4支部対抗の選手選考も兼ねた大会でした

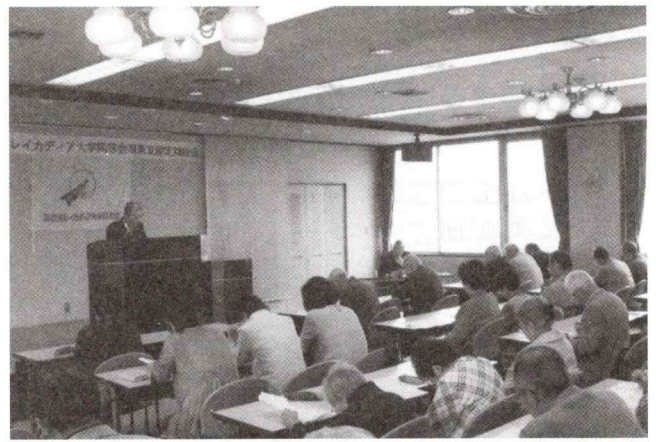


湖東支部

平成22年度 湖東支部定期総会

4月28日 彦根勤労福祉会館大ホールで開催

去る4月28日（水）、彦根勤労福祉会館大ホールに於いて会員多数の出席を得て支部定期総会が開催され、平成21年度の活動報告、決算及び平成22年度の事業計画、予算いづれも原案通り承認、可決されました。総会終了後、滋賀大学経済学部、筒井正夫教授による「近江商人の活躍と滋賀県経済」の演題で御講演頂きました。



作品展

7月2～4日の3日間、彦根市民会館のギャラリーで開催。中日新聞に掲載のとおり、出展者47名、作品数66点、同好会や独学で趣味を深める会員各位の力作がならびました。また、本校の広宣及び入学勧奨の一助になればと、米原校33期生の入学募集要綱を準備し来場者に配布。



新会員歓迎懇親会

9月21日、31期卒業の新会員24名（内20名出席）をふくめ、総勢80名の会員が参加、例年通り甲良町の一休庵で開催。新会員には各自のプロフィールを紹介いただき、そのあと先輩会員によるアトラクションなどを披露。レイカディア讃歌のCDが流れると、誰言うともなく踊りの輪が広がり、会場は大いに盛り上がりました。



支部グラウンドゴルフ大会

9月29日、荒神山グラウンドゴルフ場で開催。新会員をふくむ総勢65名の参加があり、なごやかにプレーを楽しみました。優勝の山城さんはじめ上位入賞7名の方は、10月2日に開かれた本部大会（場所は湖東支部担当・荒神出GG）へ出場、チームプレーよく準優勝に輝きました。〈写真は本部大会出場者と役員〉

◎第11回グランドゴルフ大会実施

9月23日開催の予定が、朝からの雨降りですぐ9月30日に延期され、草野川河川敷きのグランドで、71人の参加を得て、開催されました。

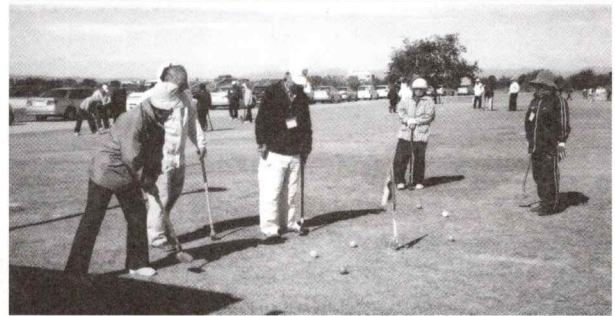
当日も小雨でしたが、競技開始した頃は、雨も止み、なんとか2ゲームを和気あいあいの中で実施しましたが、競技終了後表彰式から、雨がひどくなり、なんとか表彰式は終了しましたが、少し後味の悪い結末となりました。

◎4支部交流親善グランドゴルフ大会

10月27日、愛知川河川敷のふれあい運動公園で、4支部（彦根、中部、近江八幡、湖北）交流親善グランドゴルフ大会が開催され、湖北支部からも35人が初めて参加致しました。

◎研修旅行

千里ディリパと「竜馬が愛した伏見」を訪ねる。千里ディリパ（大阪ガス生活誕生館）の見学研修と、NHKの大河ドラマ「竜馬伝」の主要な舞台の一つになりました伏見を訪ね、寺田屋と宇治川の支流を十石船で辿る旅を楽しみました。例年より多い62名の参加をいただき、2台のバスに分乗して行きました。千里ディリパでは、ガスや電気の新しい器機や、ボタン操作一つで簡単に動く調理器具、エコを重視した発電などを見学し、最新の調理器具の使い方の説明があり、ホットケーキを焼き試食しました。昼食は「太陽の塔」の見えるホテルでいただきましたが、そこで本年度新入会された方の紹介が行われました。寺田屋の見学は、竜馬ブームか、たくさんの観光客があり少し大変でした。10石船にも乗船。三栖閘門まで下り閘門の歴史を学びました。



◎22年度総会・懇親会

4月20日北ビワコホテル「グラッセ」で、奥村同窓会会長、福田レイカディア振興部部長などをご来賓に迎え、平成22年度の総会が開催されました。

議案審議は滞りなく行われ、新年度の事業計画・予算、新年度役員が満場一致で承認されました。総会終了後は、長浜シニアアンサンブル会員による葦笛の吹奏があり素晴らしい音色に聞き惚れ、会場を移動して懇親会がもたれ親交を暖めた一日でした。

出席はご来賓4名、会員72名と例年を上回る多数の方がお集まりいただきました。

◎機関紙「こほくかわら版」発行

機関紙「こほくかわら版」第9号を7月15日に発行致しました。湖北支部出身でレイ大同窓会会長に就任された戸之洞氏をはじめ、湖北支部長、各部長の新年度への取り組みの紹介を致しました。

何よりも、レイカディア大学の存続が決まったことを速報として、会員の皆さんにお伝え出来ました。

高島支部

<平成22年度総会>

5月7日「鳥居楼」於いて支部定期総会を開催参加者は25名。物故者5名のご冥福の黙祷で始まり事業報告、決算報告、監査報告事業計画等すべて原案通り可決。22年度・23年度の役員を選出。

総会終了後恒例の懇親会。お酒を酌み交わしお互いの達者を喜び合い、和気あいあいと歓談。大変楽しい一刻でした。

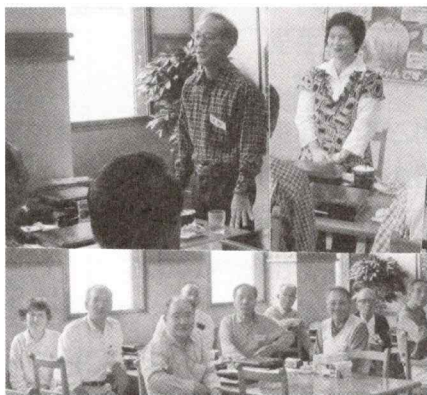
<親善G・ゴルフ大会>

9月24日マキノ高原のG・ゴルフ場で14名参加。3チームでスタート。秋晴れのもと。起伏の多い難コース四苦八苦の24ホール。

<新会員歓迎会>

9月24日

G・ゴルフ大会のあとささやかな新会員歓迎会を、昼食をとりながら行いました。



<支部恒例1日研修>

11月10日参加者17名。会費 3,000円

湖東支部の外村さんのガイド案内で彦根城博物館と玄宮楽々園を見学。当時の武家の暮らしぶりを偲び、午後は井伊家ゆかりの天寧寺（羅漢堂）と枯山水の庭とだるまの寺で有名な龍潭寺を拝観。大洞弁財天に登り、彦根城の表鬼門に配された浄院と本殿は彦根日光と称される見事な彫刻の建物であった。好天に恵まれ、大変有意義な研修でした。

<第4回作品展>

恒例の作品展を3月3日、4日、5日、新旭コミセンで開催。今回ヨシ笛演奏グループ「湖夢」とタイアップ。三日の午前、午後の2回演奏。澄んだ音色で大変好評だった。

作品展は35名出展。作品数85点。観覧者は三日間で110名。



2010年 各支部の活動 — そのⅡ

各支部開催の作品展の概況

支部名	会場名・開催期間	出品内容	来場者 接待等	総費用	その他
大津支部	大津市生涯学習 センター 3月3日	絵画、文芸、陶芸 手芸、写真、絵手 紙、活動記録 約50人(出展者数) 約20%(出展者比率)	約350人	22,000円 8,000円 (会場費)	会員向けチラシ配布 ●文化部長(10人) ●3点/人以下 ●搬入搬出 本人または役員
草津・栗東 支部	草津市図書館 3月5日～7日	絵画、文芸、 陶芸、手芸、 写真、絵手紙 102点 出展	130人	26,796円	会員向け チラシ
守山・野洲 支部	守山市図書館 4月22日～26日 (5日間)	書、絵画、絵手紙 陶磁、手工芸、他 出品数 81点 出品者 41名	210名 絵手紙、箸 置き、土鈴 (会員より提供)	18,960円	会場費・無料
甲賀支部	湖南市石部 文化ホール 10月14日(木) ～15日(金)	書、盆栽、写真、 陶芸、絵画、水彩 画、コレクション 出展数 62点	30名	2,130円	会場費・無料 出展者に参加 賞として粗品
近江八幡 支部	ひまわり館 9月30日～10月2日 (3日間)	出展者 37点 作品数 91名	140名 お茶	16,575円	
中部支部 (能登川分会)	能登川公民館 10月30日～31日 (2日間)	出品者 18名 書、写真、絵、 盆栽 出品展数 61点	能登川公民 館文化祭 入場者 概数 2,600人	約5,000円	能登川公民館 文化祭に協力 出品
湖東支部	彦根市民会館 7月2日～4日	出品種目 17種目 出品点数 66点	120名	23,436円	会場費用 11,700円 33期募集要綱 配布
湖北支部	六荘公民館 2月4日～6日	出品者 46名 出品点数 96点	約150名	29,199円	※機関紙「こほ くかわら版」第 9号を7月15日 に発行詳細は支 部の活動に記載
高島支部	新旭コミセン ほおじろ荘 2月～3月 (3日間)	書、水墨画、水彩 画、大津絵、工芸 品(竹細工)、写真 短歌、俳句、冠句	130名 ボールペン	約8,000円	

《特集》

支部の一押し

各支部より「一押し」の人物を中心に、支部幹部および広報部員による取材記事を集めました。

レイカ大津「マジックサークル」のボランティア活動

大津支部 第23期 園芸学科 増田 泰男

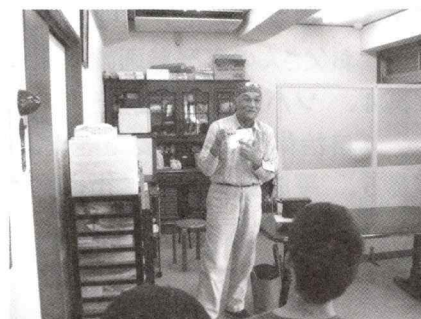
平成19年4月にマジックサークルが立ち上がった。同窓会により積極的な活動をと、18年度に5部会を設け、その1つの文化部が、アンケート結果に基づき作ったサークルである。他には「絵手紙」「川柳」「パソコン」「フォトウォーク」がありそれぞれ活発な活動を続けている。「パソコン」や「絵手紙」は一般大津市民の方も受け入れてどんどん規模が大きくなってきている。今回はマジックサークルのボランティア活動を紹介する。

マジック歴30年の磯田先生の下にサークルとして集まったのが約10人。(会員数は出入りがあるが10~14人で推移している)シルクやロープ、カード関連の基本材料を先生から与えられて、月2回びわ湖大津館で練習を開始した。先生はいかにも簡単そうに見事に演じられるが、手や指の動き、目の動き、構える角度等ひとつひとつが理屈によっていて、最初はぎこちないこと、この上なかったが、「好きこそもの上手なれ」の通り少しずつ腕が上がってくると、その技(発足以来50ぐらいの演目を学んだ)を披露したいというムズムズ感が出てきて、レイカ大津の総会懇親会や新年会、地域の各種会合、福祉施設等で、それぞれが個人的にマジック演技を行なうことが増えてきた。失敗もあるが、それが又笑いを誘い好評で、人気メニューとなっている人も多い。

レイカ大津の今年度からの活動方針「市民への発信型活動」の主旨を理解しレイカ大津マジックサークルとして、「出前演技ボランティア」をしていこうと話し合っ合意し、この夏から活動を始めた。会員の一人(女性)がボランティアをしている草津市の福祉施設から要望されて、8,9月に計4回3~4人1組で施設を訪問し演技した。1回1時間程度であるが会話を交えながらの演技は各人の個性も大いに発揮され、演じる方も見る方も共に楽しい時間を共有した。出前ニーズには今後も積極的に対応するが、当面は大津市福祉事業団が所管する市立の老人センターやデイサービスセンターを主対象として出前ボランティアをしていく計画である。すでに11月から12月に計6回の予定がある。

人前で演技すれば間違いなくマジックの腕も上がっていくことをメンバーはよく解かっているので、分担しながら無理の無い範囲で楽しくボランティア活動を続けて行きたいと考えている。

写真は出前ボランティアのスナップである。



おやじのたまり場の躍動する多彩な活動の紹介

大津支部 第28期 園芸学科 西澤 勝
大津支部 第28期 園芸学科 山田 隆造

おやじのたまり場～セカンドライフサロン～が平成19年3月に産声をあげました。それは、退職勤労者の生きがいづくり、地域社会での活動の場づくりを目指しています。大津市社会福祉協議会の支援を受けて、スタートし多彩な活動を展開しています。

定例活動は第2・第4木曜日に定例サロンを開催しています。サロンではウォーキング・写真・囲碁・料理・パソコン・ゴルフ・ボランティア活動研究等、会員のサークル活動の啓発やゲストのテーマトークの研修も行ってきています。

20年度から「大津市新パワーアップ事業」に応募し、3年間にわたり、ウォーキングをベースに多彩な活動を続けてきています。

平成20年度は街道探索コースとして、4つのコース（東海道、北郊街道など）を会員で分担して、街道の実地調査を実施しました。

平成21年度大津市と協働で「“街道案内人”と歩く 湖都おおつ」～ウォーキングで歴史と文化を再発見～の事業に取り組み、平成22年1月16日には「大津の歴史を語り学ぶ」フォーラムを開催し、大津市、郷土歴史家の協力を得て、153名の参加者にその成果発表しました。そして、平成22年度はリニューアルした「パワーアップ・市民活動応援事業」として採用されました。「“街道案内人”と歩く 結いの湖都おおつ」というテーマです。

先の2年間で8コースの「街道ウォーク」を実施、その間、同コースのガイドブックを作成、「街道案内人」を養成してきました。

「おやじのたまり場」の現状は50名の会員まで成長し、その中でレイ大卒業生は15名を数え、副会長：西澤 勝（28期園芸）、事務局長：山田隆造（28期園芸）を中心に、この会を支える重要な役割を担っています。添付の写真はおやじのたまり場の活動のいきいきした様子を示しています。

団塊の世代が続々と参加し、さらなる発展が期待される「おやじのたまり場」です。

写真1. 定例サロン（平成22年5月のテーマトーク）

さんいち座公演（レイカディア大学の地域文化学科31期生）

写真2. 部会活動 おやじの料理教室

写真3. ボランティア活動（H21年7月）

お父さんの家庭参画講座 大津市男女協働参画センター主催

写真4. ソバ打ち体験講座

自治体等からの要望等による出前講座

写真5. 平成22年度「“街道案内人”と歩く 結いの湖都おおつ」

Aコース大地育む・仰木の里山探訪（平成22年10月）

写真6. 街道ウォーク（平成21年度）



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

小学生とラジオ体操と回想



草津・栗東支部 第25期 園芸学科 國松 功

小学生の夏のラジオ体操に付き合っ、九回目が終わりました。

民生委員活動の一つとして、一緒に体操をしておりますが思い返すと色々な思い出がめぐります。

眠たい目を擦りながら、走ってきた一年生が高等学校の最上級生になり、前でリーダーを務めた六年生はもう立派な社会人となって巣立っていきました。

また母親に手を引かれて来て「ひょっこ踊りか、たこ踊り」か、見よう見まねで体を動かしていた子供たちは、二年生になりました。

思い出が走馬灯のように巡ります。十年一日のごとくと、自分は変わっていない様に思っておりましたが、六十代の十年は早やかっ。

尚今年は、特別の思い出がありました。

三十年の長い間、主人の介護に携われ一昨年送られて、想いの整理も済み、子供たちの朝の体操に参加してくれました。私との付き合いは九年でしたが、三十年の介護生活は想像だにできません。八十余歳になられました元気を取り戻され余生を楽しみたいと言ひ、「健康ほどありがたいものはない」としみじみと言われましたが実感の籠もった言葉でした。

先日も小学校の運動会の見学に行って来ました。いつもの通りセレモニーの後ラジオ体操第一が行われると思ひ込んでおりましたが、あにはからんや体をほぐすストレッチが行われ、又びっくり。六十年続いた準備体操としての「ラジオ体操第一」が終わりを告げていました。



観光再確認と「栗太八景」

—観光ボランティアの想い—

草津・栗東支部 第22期 園芸学科 吉田 進

1. —観光ボランティアとしての再認識—

「観光」とは、故郷の歴史・文化に関心を持ち、温故知新・不易流行で愛郷心を育み、地域の光を訪れる者に観せることです。観光の語源は、約2000年前に遡る中国の儒教經典の五經の「易經」の言葉「觀国之光利用賓于王」に由来し、…地域のすぐれたものを観る／観せること…、「住んでよし、訪れてよしの地域・国づくり」と言われます。

八景文化は、地域の光ものを（地名）八景と称して各地に存在します。江戸時代の日本でブームが起こり、寛永3（1750）年頃に滋賀県栗太郡（現栗東市）の慶崇寺の僧・致遠（通称「素月」）が「栗太八景」を選定し、七言絶句で作詞しました。八景文化は、代表的な地域名に、自然の気象や時間とその光の変化を自然界の情景で描写した「地域の光もの」です。そのルーツは中国宋代の瀟湘八景で、水墨山水画の画題を、江南の雲霧の気象と夕暮から夜にかけての光の変化を表しています。八景は次のとおりです。参考に琵琶湖周辺の景勝地を撰んで慶長年間（1596-1614）に発案の近江八景の地名をカッコで示します。

- ①山市（栗津）晴嵐＝晴れたり曇ったり
- ②漁村（勢多）夕照＝夕暮の照返しの光
- ③遠浦（矢橋）帰帆＝夕暮の遠景
- ④瀟湘（唐崎）夜雨＝夜の雨
- ⑤煙寺（三井）晚鐘＝晩の音
- ⑥洞庭（石出）秋月＝湖に月の光
- ⑦平沙（堅田）落雁＝夕暮の砂州
- ⑧江天（比良）暮雪＝夕暮の雪景

2. —古い栗太八景と新しい詩碑—

この八景詩碑巡りを観光スポットに推挙し、山水画と漢詩を鑑賞しつつ、サイクリングかウォーキングによる「体力づくり・健康増進」に役立てるのも人生の楽しみ方です。

栗太八景は、260年前の江戸中期（1750）に、慶宗寺の致遠（雅号素月）が、七言絶句の漢詩を作り選定しました。これは八景文化の所産と言えます。

- ①松島秋月（発祥地の慶宗寺大橋地区）
- ②金山暮雪（大橋地区三輪神社境内）
- ③上野夜雨（東海道街道筋の林地区）
- ④伊勢落晴嵐（同街道筋の伊勢落地区）
- ⑤砥山夕照（上砥山地区の三ツ池）
- ⑥赤坂帰樵（小野地区の赤坂公園）
- ⑦手原行人（手原地区の稲荷神社前）
- ⑧蓮台寺晚鐘（下鈎地区の蓮台寺跡）

葉山川（草津線手原駅近辺）の手原橋欄干に、栗太八景を漢詩と出水画で表わした陶板があります。ここで、「栗太八景詩碑巡り」の全部を一覧できますし、その内の一枚には栗太八景の由来が説明されています。



かみのせう
上野夜雨



いせおちせいらん
伊勢落晴嵐



とやませきしょう
砥山夕照



あかさか きせしょう
赤坂帰樵



てはらこうじん
手原行人



まつしましゅうげつ
松島秋月



かみやまぼせつ
金山暮雪



れんだいじばんししょう
蓮台寺晚鐘

収 穫 祭

守山・野洲支部 第27期 スポレク学科 村中 治之

10月15日秋日和のもと通称「夢農園」でシニアグループ団体「うり坊の会」（総勢17名 会長 村中 治之（27期スポレク）他6名レイ大）と守山社会福祉協議会（以下社協と言う）がタイアップし、それに加え「社協シニア4団体」「NPO法人1社」が応援、守山市山田市長、社協の職員、等総勢74名が参加、昨年に続き盛大に「収穫祭」が開催された。

施設の子供18名と、「ケアハウスゆい」の高齢者8名が招待され、泥んこの「芋堀」、大人も童心に返るあそび、絶える事のない子供達の歓声、絆を深めたおしゃべり……メンバーの料理の達人による「カレーライス」香る「コーヒー」「お菓子」等々が振る舞われ大盛況のうち終えられた。メンバーの皆様並びに応援の方々お疲れ様でした。

ここに登場のシニア5団体は社協主催の「男性ボランティア入門講座」をきっかけに結成されたシニアグループで、それぞれユニークな活動を展開、公共施設等の剪定、有償運送、お話相手、公共施設の受付、市のパソコン教室講師、児童の見守り、家具転倒防止、災害ボランティア、各種委員（健康推進計画、業務仕分け）スポーツレクレーション指導、畑耕作、夏祭りキャンプ等行事支援、等々各メンバーの得意分野を上手く活用され独自の仕事に取り組んでいる。

ベースには、レイカディア大学卒業生または在校生が通称シニア5団体総計104名の内30名が名前を連ね地域福祉活動を展開しており社協よりも大きな評価を受けております。

（この数字は昨年末社協より発表されたものです。）

守山市のレイ大卒業生、在校生と社協との関係は非常によく、住みやすさ日本一が出きる街を念願してやまないものです。

「うり坊の会」ではメンバーの得意分野（そば打ちや料理講習）を上手く活用、「仲間づくりや」「居場所づくり」を大切に、グループでの活動、趣味に学び、ボランティアに親睦にと、大いに第2の青春を謳歌、高い評価を受けております。



おみ 臣 康雄さん有機野菜づくり奮闘記

守山・野洲支部 第24期 スポレク学科 臣 康雄さん

授産施設「あじさい園」からはじけるような歓声が聞こえてきた。この11月6日は当施設の畑で「ドリーム18会」の作ったサツマイモを掘り、焼いもといも煮会を催した余暇余暇祭です。利用者とスタッフ、それに「ドリーム18会」の40数名が集い、楽しい盛りだくさんな行事が行われた。

この「ドリーム18会」は守山市社会福祉協議会講座の受講生により平成18年に結成（会員23名中レイカディア大OB4名、在校生1名）され、「いつまでも元気・地域とのつながり・地域貢献」をモットーにボランティア活動にも貢献している。

その活動の一つ「園芸の会」のリーダー、24期スポレク卒の臣さんの奮戦ぶりと、有機野菜栽培に挑戦されている熱意について本人よりの取材並びに守山市社会福祉協議会へ投稿された文章より抜粋紹介したい。

臣さんはT種苗会社の研究農場で野菜の品種改良を担当し、定年を迎え、それまでの経験を活かした野菜づくり、同じするなら無農薬・無化学肥料の有機栽培を旨として挑戦する。多品目、小面積での家庭菜園を広げ、地域の活性化につながらないのかと考え、永年つちかった技術で安全・安心な食料を確保できると確信されたことから臣さんの奮戦が始まる。

まず野菜づくりの仲間を集い一緒に堆肥づくり、土づくりをしながら有機野菜栽培を目指そうと「落葉会」を結成され、10名の個性豊かなメンバーとともに楽しんで勉強された。さらにこの楽しみを広げようと、「これから行動隊」のメンバーとなり、守山市に依頼し

て土地を確保、圃場作りには「落葉会」「ドリーム18会」の献身的な働きによって市民農園「荒見ファーム」を立ち上げられた。

現在この市民農園を指導して3年を経過し、当初は団塊世代の定年後の生き甲斐づくりで始められたものの最近では若年から年長者までの40名の幅広い参加となり、世代間交流も出来うれしい誤算とのことです。

土づくりに欠かせない良質の堆肥が出来たこともあり、あり余る美味しい収穫物に皆嬉しい悲鳴を上げておられ評判が高い。また11月14日には会員家族とドリーム18会メンバーの60余名で「サツマイモ掘り・いも煮会」を行い、自主的な運営、共同作業とまとまりのよい楽しい集団が出来上がっているとの事である。

また先述の「あじさい園」や「守山学園」などの施設に毎週「ドリーム18会」で作った野菜を提供して食堂で利用され喜ばれている。

全国に作られている農業公園と貸農園を併せた、しかも有機野菜づくりにこだわった市民農園はこれからの一方向かと思われる。

自然にもやさしい田園都市、食に関心を持ち、健康的な街づくりを目指した守山市を全国に発信できればと、この夢の実現に向け努力されており、大きく羽ばたかれんことを願うものです。

また「よみうり文化センター園芸講座」の講師として月2回高槻で有機野菜栽培の指導をされており、座学、実地指導と大活躍です。なお中国など外国での農業指導もされており、機会を見て話を聞きたいと思っています。

取材者：小林仁司 写真：高野隆男



「日本語教室」で、外国の方たちが頑張っています

甲賀支部 第25期 スポレク学科 山形 範子

3年前に国際協会へ誘われて入ったのが広報部でした。同時に「日本語教室」の取材を頼まれ、真剣な外国の方と指導者を写しているうちに、何かお手伝いが出来ないかと、養成講座を何回か受け、見習いで各指導者たちの授業を受けたりしました。

9月から15回シリーズで、後期の授業が始まりました。サンヒルズの下、水戸まちづくりセンターで、毎週土曜日の19:00~20:30まで、学習者のレベルに合わせてクラスが決まり、私は初めて初級者で、中国・ブラジル・ペルーの6名を受け持つ事となりました。8月に来日した3名と、他の3名は5年目ぐらいですが、話せない、書けない方たちです。仕事や、学校が終わってから駆け付け、意欲満々で臨む態度に、各指導者も真剣です。

12月18日が後期の最終日でお楽しみ会、それまで後、7回目で、来年の前期(4月)の授業には、全員が上のクラスへ行けるよう頑張り、日常生活の不便をなくさなくては。

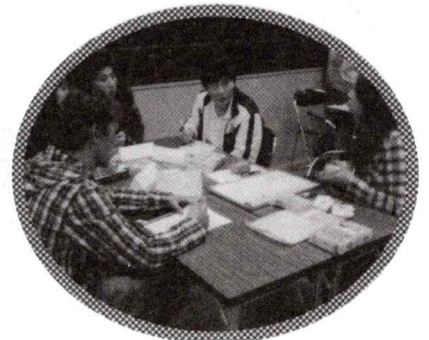
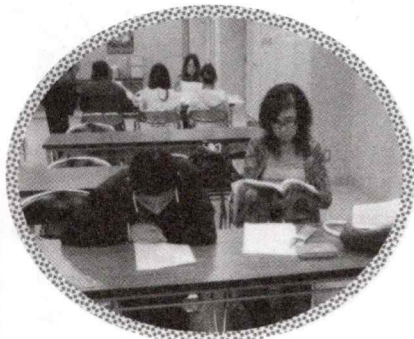
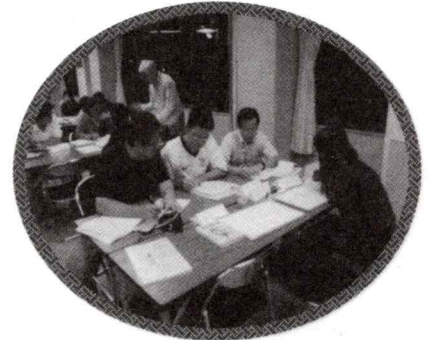
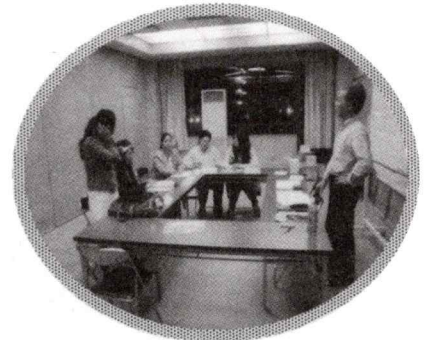
今回は7回目でききなりテスト、想像以上

の成果が見られビックリして、小躍りしたくなるほど嬉しくなりました。

先週また1人入ってきましたが、7回目の人たちと一緒にするのは可哀想と、1人の指導者が見てくれることになりました。試験を受ける方、漢字を習いたい方、上級者、中級者、初級者、新しい方と、あちこちでマンツーマンでやったり、今、指導者が足りません。

外国語は全く使わず、全て日本語でゆっくり話します。お手伝い出来る、ボランティアさんを探しております。

ご協力お願いします。



「湖南省ふれあいの館」でボランティアしています。

甲賀支部 第28期 陶芸学科 木村 榮子

- 「すずめの学校」毎月第4木曜日10時～12時、未就学園児親子とボランティアグループの方々が、共に楽しく遊ぶ学校です。(登録20組親子) 毎会のお菓子作り「シュガー」と年一回卒業記念として陶板の手形をしています。
- ボランティアセンター登録グループの方々の交流の場として年に3～4回フレッシュタイムを開催。陶芸教室2回、20～30名の方々。



武佐小学校 家庭科と読書のボランティア

近江八幡支部 第28期 文芸学科 田巻 浩子

- 先生の説明を生徒と一緒に受けてから、その通りに指導をする。
- 一クラスに5人～8人のボランティアが入る。
- 3名の生徒に1人のボランティアが付く。
- きめ細かな指導が出来る為、子供達はとても嬉しそうな顔をして「お母さんやおばあちゃんはこんな楽しい事をいつもしているのか」と云う子もいる。家庭科が皆んなとっても好きになっている。
- 先生も一人では、とても教えられない。でもボランティアの方に補助して頂くので、生徒達もとっても幸せです。と常に感謝されボランティア冥利につきます。
- 生徒が元気なのは、遅れる子が誰もいないからだと思えます。

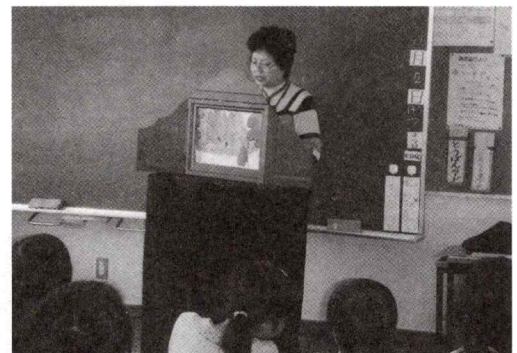
授業の始まる8時20分～8時35分

読書の時間

- 1年生～4年生まで
クラス毎にボランティアが入る。
- 読みきかせでも、紙芝居でも良い。
- 先生も生徒と一緒に聴いておられる。
- 本に親しむ力を付ける為だそうです。
- 読んだ後に子供達にボランティアに感想文とお礼の便りを書かせておられます。一年や二年でと思うほど素晴らしい文章で感心しています。
- ボランティア10人位で布芝居をする事も有ります。1m位の中で20m位を巻き取ります。布に絵が書かれています。



家庭科のボランティア



読書のボランティア

日赤奉仕団西生来分団ポンプ場跡を公園に



- 子供も大人も近づく事の出来ない草むらを、きれいな気持ちの良い公園にしたいと云う事で、団員の皆様に集まって頂き、皆様に賛同して頂き西生来町ふる里景観守る会をスタートしました。
- 中山道を歩く方々の休憩の場が有ればと、ベンチと机も廃材を活用して備え付けました。とってもよろこんで頂いています。
- この事を通じて、人様に感謝される事は自分達も幸せな気持ちに成る事を、一人一人が噛み締めております。又、仲間が笑顔で笑いの有る場所には、人も大勢集まって来て下さる事も実証されました。次から次と日赤に入団され、一緒に楽しい活動を継続しています。

地域活動事例紹介

近江八幡支部 第28期 生活科学学科 浅岡 徹夫

近江八幡市では、退職男性を中心とするおやじのグループが年々増加し、ボランティア活動などを積極的に行い活躍されています。私は生き生きクラブというグループに属して毎月八幡山の清掃（写真1）や旧家野間邸の清掃（写真2）などに携わっており、時にはおやじ喫茶という形で福祉施設などに出前で喫茶を開設することもあります。また行政と連携して、介護予防のためのゴムバンド体操指導（写真3）を各地の公民館などで行い、認知症キャラバンメートとして市内の全ての小・中学校でサポータ研修を行っています。

最近では県の老人クラブの依頼を受けて、出前講座としてゴムバンド体操やニュースポーツ、認知症研修などを各地で行っています。（写真4は湖北での認知症研修風景）また国際奉仕団体ワイズメンズクラブとしてYMCAと協力して、子供のための市民クリスマス（写真5）を開催したり、湖岸清掃や献血支援活動、老人ホームや身障者施設訪問など行っています。

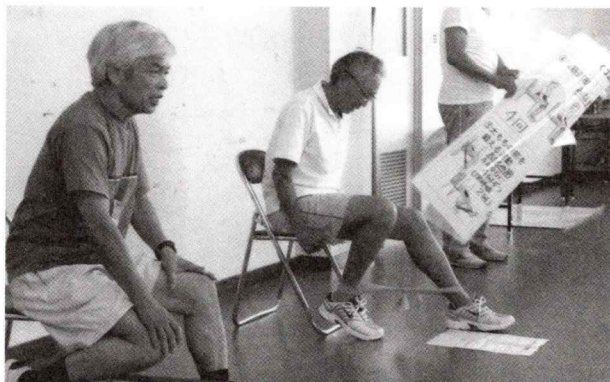
NPOナルクの活動としては会員相互の助け合い運動として、足の不自由な方の送迎などの活動を行っています。多忙な中で、旅行など自分の好きなことをしっかり楽しむためにも身体を鍛え、健康に十分留意したいと思います。



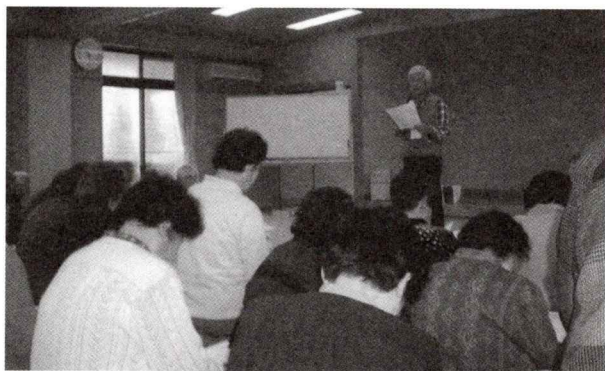
いきいきクラブ 八幡山清掃（1）



いきいきクラブ 野間邸清掃（2）



ゴムバンド体操指導（3）



湖北で認知症研修（4）



市民クリスマス（5）

今年も点灯 みんなでつくろう光の和

中部支部 第29期 スポレク学科 徳田利一さん

このイルミネーションの点灯は市町村合併を間近にひかえた平成16年に、能登川町の住民として何かできる事がないかと有志が集まり、Lighting Bell of 23thousand Heart (2万3千の心に灯火を)としてスタートしました。

JR能登川駅前の身近な林中央公園を自分たちの施設であることを認識し、市民ひとり一人が大事にすることによりそこに集い、語りまちづくりの輪が広がることを願い、ほのかな灯火(イルミネーション)をデコレートするものです。

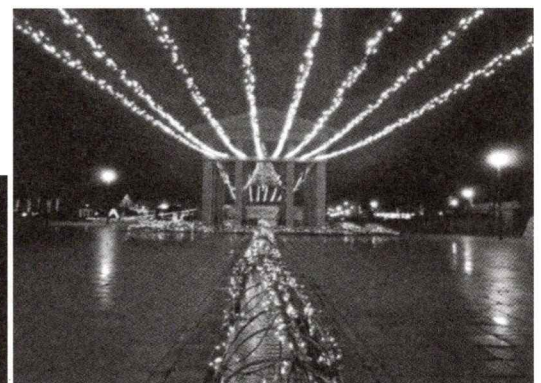
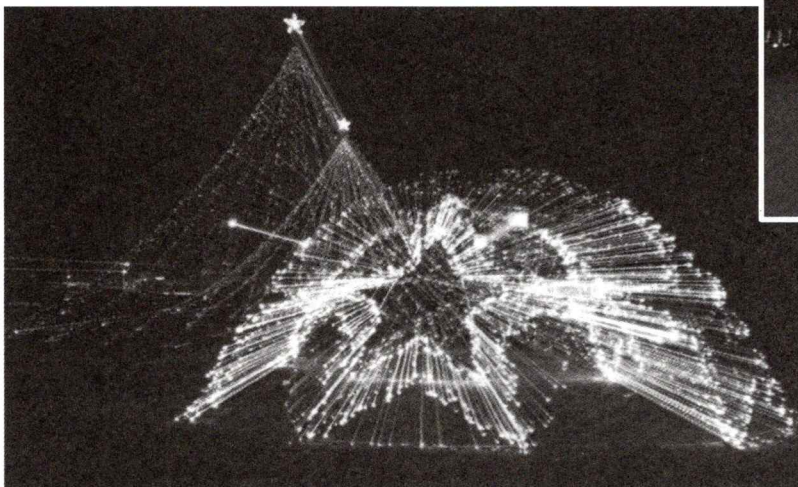
スタート時からレイ大卒業生、在校生も参加しておりました。組織も主催ライティングベル実行委員会・共催能登川地区まちづくり協議会、参加グループは近隣自治体から職域、趣味のグループ等々多岐に及んでいます。今回主催の実行委員会より当初からの協力者徳田利一氏を通じ「レイカディア大学関係グループ」として参加協力のご依頼がありました。

今回は日時の関係もあり能登川分会の皆様で12月12日(日)午前中のイルミネーション飾り付けをすることに決定。当日好天に恵まれ「レイカディア大学同窓会旗」のもと14名の会員が集合、能登川地区まちづくり協議会

副会長・プロジェクト事業部長四方秀亮氏の大大ツリーの設計意図と出来上がりイメージの説明を受け作業に取りかかりました。1mに100個以上の電球がついているコードを直列・並列の指示書にしたがい、15m、10mのコードを30本大ツリーに釣り上げ、末端は扇状に拡げ等間隔に固定してスイッチ・オン、冬日に負けずに輝けば合格、3000個以上のネオンの輝きを夜に眺めるのは12月18日(土)17時の点灯式までお預けと、本日のボランティア活動を終了しました。

今日感じたことは、同窓生の先輩、並びに在校生の皆様のたゆまない協力の結果が、地元でのレイカディア大学同窓会への評価につながったと思います。このライティングベルは地元の歳末行事のひとつとして引きつがれて行く事でしょう。同窓会の皆様、背が高くても低くても、力が強くても弱くても、あなたにしか出来ない作業があります。2011年のライティングベルには、共に作業して共に輝くイルミネーションを眺めようではありませんか…。

(取材者：青木忠雄)



ボランティア活動に参加して

中部支部 第30期 園芸学科 小林 正昭

レイカディア大学一年生の時に、地域活動を行うに当たり東近江市地区の者（9名）で「小規模多機能居宅介護事業所『かじやの里の新兵衛さん』」の支援について、南部所長との話し合いで、「介護支援・庭園の剪定作業など」を活動させて頂く事となり、その後毎月第2・第4水曜日に活動することとなりました。幸いにして、メンバーの中に、「樹木と緑化の管理技術サポーター・庭園技能学習指導員の小山善之氏」がレイ大生の同期となり、学校では教えてもらえなかったこと、樹木の剪定方法・庭園管理・盆栽などについて、実際の樹木で、剪定方法・樹形などをご指導していただきながら、新兵衛さんの庭の庭園管理を始め、早三年がすぎました。現在では、レイ大30期をはじめ、29期生から32期生までも活動しています。メンバーも東近江市を中心に彦根地区・近江八幡地区からの参加者もおられ、又、地域からの参加者も年々増えてきております。

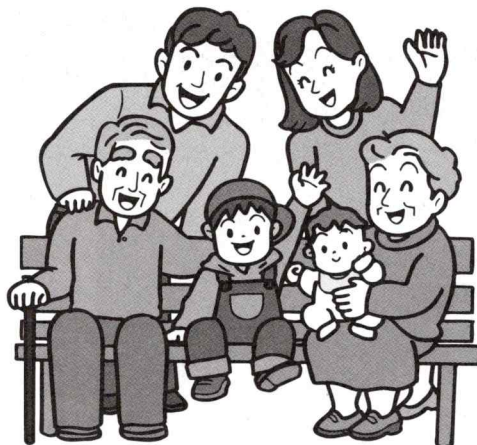
活動内容として、

- ①庭園管理と園芸塾（山野草・盆栽）
- ②新兵衛さんの夏祭りの支援
- ③そば打ち大会
- ④徘徊訓練
- ⑤認知症研修会
- ⑥介護支援等にわたり活動しています。

又、22年6月5日に、NPO法人・特定非営利活動『かじやの里』が設立され、現会員数60数名中レイ大関係者は、25名となり、

- ①地域密着型サービスかじやの里の新兵衛の支援事業
- ②各種ふれあいの場の創出する事業
「食育イベント・福祉研修会」
- ③園芸を学ぶ場（園芸教室）事業
- ④その他地域の福祉課題の解決に向けての創造・支援活動等を行っています。

このボランティアについて、私は、生きがいを持ち、仲間を持ち、健康に暮らせ、困ったときには助けてもらえ、又、助け返せる人づくり、又、「自分が楽しめる」活動をしています。



地域の子どもたちを育てる

湖東支部 第21期 文芸学科 金子 良一

前湖東支部長の金子さん、「秦荘子どもトライアル」と銘打って、地域の子どもたちを育てる活動に取り組んでおられると聞き及び、今回その状況取材させていただきました。活動内容と概要を「ボランティア体験記」のかたちで、以下にまとめてみました。

◆目的

様々な体験学習を通じて、子どもたち一人一人の可能性を伸ばすことを目的とし、他の学年や他の学校の友達、地域のボランティアとの交流を深め、互いに思いやる心を育む。

◆活動内容

野外活動・自然観察・創作活動・料理・レクリエーション活動等（その年の活動計画に基づきサポートを行う）内容により参加は自由。

◆ボランティア体験記

最初は孫のような大勢の子もとの様に接して良いのか、何をしたいのか戸惑いが大きい。顔と名前を覚えるのにも一苦労する。

ボランティア仲間（15名程度）の気心も解らず、まず先輩のやり方や、子どもたちを観察することから始まる。

参加回数を重ね体験を積む事で、ボランティア仲間や子どもたちの得意分野と個性が解り、活動内容に応じて必然的にリーダーが決まり、自分の身の置き所が定まってくる。

子どもたちの発想力は素晴らしい。教えるとか指導するなんて考えていたらとんだ間違いで、子どもを通じて教えられることが多い。（子どもの世界のことであり、注意したりルールを守らせること等は当然おこり得る）

3年生から6年生の子ども5～6名で7班のグループ（毎回メンバー変更）を組みサポーターとしてボランティアが1名つく。

活動目的を満たすための手法であり、年長者が年下の子の世話をさせるという意味もある。ボランティアは出来るだけ口や手を出さずに子どもたちに物事をさせ、質問を受けた時に答える程度にしようという申し合わせでスタートするが、時間的な制約もありついおせっかいをしてしまう。

ボケ防止に参加なんて気楽なことは言っておれない。子どもは危険な事を好んでやりたがる。小競り合いがあったり、キズをつくったり、熱を出

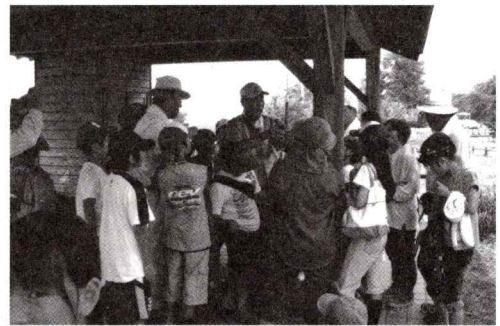
したり、誰それがアーしたコーしたと対応に忙しい。今回も事故なく無事にすんだなーとホッとし、ボランティアさんありがとうの声で終わる。

お陰様で子どもたちの知り合いも多くできて出会うと声を掛けてくれたり、中学生になっても挨拶してくれる。体力仕事でそう長くは続かないが、子どもの成長が楽しみである。

（取材者：山岡 昇）



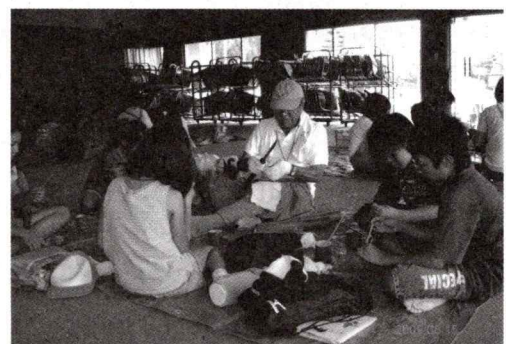
流しソーメン大会



溜め池でブラックバス釣り（外来魚駆除）



岩倉川で水中生物調査



竹細工（流しソーメンの器とハシ）

河川環境保全への住民活動

湖東支部 第27期 生活科学学科 藪田 和彦

レイ大を卒業して4年が過ぎ、在学中から始めた地域活動を続けています。地味な仕事ですが、河川の環境保全のために、彦根市環境保全指導員として、河川の水質保全に関わっています。平成4年に彦根市が策定した「生活排水対策推進計画」に基づき、水質や水生生物の調査、生活排水に関する啓発を地域に於いて推進するものです。市民も参加して、環境保全に関する市民の活動の輪を広げようとするものです。

指導員の役割は、平成12年より始まった市内の中小河川、水路の水質調査です。平成22年4月現在で、63名の指導員が活動しています。毎月1回市内127地点を手分けして、パックテストによる水質検査を行います。検査項目はCOD、アンモニア、リン酸、PHの4項目です。会ではその結果を地点別に、水質に応じて色分けした彦根市の地図を作成しています。また、生活排水対策についての啓発活動や河川に生息する生き物の生態調査を行います。どんな水生生物が住んでいるかで、水の汚染状態が分かります。汚れた水に好んで住む生き物もいます。

汚れを表す4つの指標のうち、代表的なものはCODであります。CODは化学的酸素要求量または化学的酸素消費量とも言われ、水中にどれ位有機物があるかを示すものです。

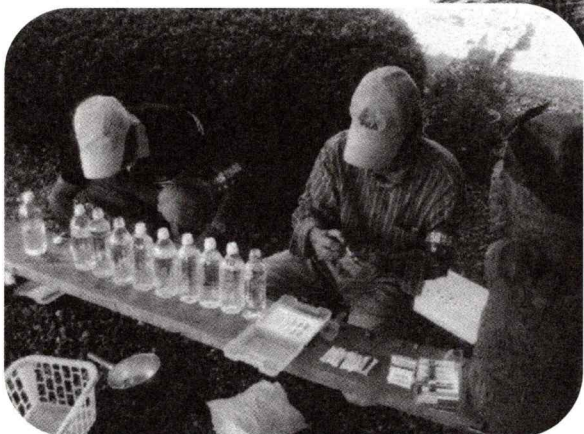
CODは生活雑排水等から供給される有機物による汚れの指標となります。汚れの指標となる水質項目として、CODの他に窒素。リンもあり、これらも生活雑排水から供給され、CODと相関があります。

会では水質測定について、精度向上のための実習を積み重ね、「身近な水環境の全国一斉調査」「琵琶湖一斉モニタリング調査」等に毎年参加しています。

他にもホタルの生息状況の調査や環境関連行事への参加など行っています。

今後、市が開催される「環境スクール」に多くの市民の方が参加され、身近な河川や水路の水質に関心を持っていただき、一緒に下水対策や河川の美化への取り組みが広がって行ければと思います。

水質調査



水生生物の採取

(広報部員が藪田さんに取材：ご本人より提供の記事、写真を掲載致しました。)

“お年寄りの話し相手に”

「ながはま★傾聴ボランティア」活動

湖北支部 第26期 スポレク学科 藤山富美栄

私達は、一人暮らしや、障害者、又昼間一人で過ごされている人で介護認定を受けておられる人を対照に、依頼を受けた人の家へ、2人1組になって「おしゃべり」の相手として訪問活動をしているボランティア団体です。

発足の経緯は、『堅田・おしゃべりボランティア』さんから「おしゃべりボランティアを立ち上げたところ、大変好評なので、草津市と長浜市で一緒に立ち上げませんか」とのお誘いを受け、いろいろ御指導を仰ぎながら平成20年3月10日『閉じこもり予防、支援モデル事業』として最初の会合を仲間14名で開くことができました。この中にはレイ大卒業生が9名入っています。

依頼は、市社協や介護施設など主に地域包括支援センターのケアマネージャーさんから紹介された高齢者宅の方々です。閉じこもりがちになると一人で過ごすことが多い高齢者の寂しさ解消認知症対策として活動。

毎月第4月曜日午後1時30分から福祉センターにて例会を行い、カレンダーに基づいて次の月の予定を依頼人の訪問希望日に沿ってボランティア各自の開いている日と照らし合わせながら、作業を行います。この作業が一番難問です。

訪問日は依頼人とこちらと調整しながら決めます。決まれば最初の訪問のみボランティア2人に必ず紹介者のケアマネージャーさんと3人で訪問します。初めてお会いする人の家に上がらせてもらう訳ですから信頼関係が大切だからです。このボランティアは特に信頼関係で結ばれている訳です。

「活動の流れと概要」

☆事前に翌月のカレンダーを作成

- 決定した訪問日を記入しておく
- 訪問対象者 10名程度
- 訪問日は一人月2回まで
- 時間は午後2時～1時間程度
- ボランティア 21名

(内レイ大卒業生11名)

☆定例会

- 毎月第4月曜日 午後1時30分～
- 長浜市社会福祉センター 会議室にて
- 訪問先で気のついたことなどの報告
- 翌月の訪問者の決定(必ず2人1組)
- 連絡事項など

ボランティアは訪問日が近づくと、2人が相互に連絡をとりあい訪問する。2人の内1人は1回以上その家へ訪問経験のある人とし、訪問先には前もってお茶やお菓子の接待をお断りしていますが、あまり強く勧められる場合は戴くようにしています。話の内容は、主に世間話や昔話、折り紙など趣味のある人には教えてもらったりするととても喜んで教えて下さいます。相手の人を呼ぶときは、必ず名前と呼ぶことも大事なことです。

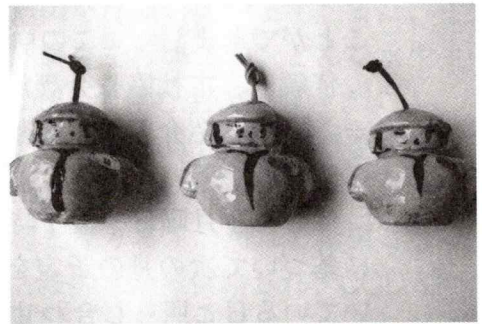
長浜も大合併で訪問範囲も広くなりました。これからの課題として、ボランティアの増員が1番に望まれることです。そして、長続きするためにはボランティア自身が楽しくなければいけません。

今後も、堅田や草津の『おしゃべりボランティア』のグループと交流しながら、地味ではありますが、楽しいボランティア活動を目指していきたいと思ひます。

「近江の国 高溝村」の、まちづくり

湖北支部 第30期 地域文化学科 松居 信夫

さて、「近江の国 高溝村」は、何処の在所かなとおもいだろうと思いますので紹介させていただきますと、現在の米原市高溝（旧近江町）国道8号線長浜寄りに位置するところです。実は平成18年に、司馬遼太郎原作のNHK大河ドラマ「巧名が辻」の主人公、山内一豊・千代の忠臣「田中孫作の里」が高溝なのです。テレビで演じた田中孫作のセリフの一節に「近江の国 高溝村に帰る処です」が全国ネットで放映されました。そこで、高溝孫作会を立ち上げ全国に発信しようとまちづくりに取り組みました。その一端をご紹介させていただけたらと思いますここに掲載させていただきました。高溝孫作会のまちづくりについては後程お話させていただくとして、私の住んでるところは昔からまちづくりにとりくんでいるところです。まず、生活改善として村のしきたりをお嫁さんがきて頂いても派手にならないように、また冠婚葬祭等条文化して各家庭で見える処に張っておく、農繁期の忙しい時の助け合いとして共同炊事に早くから取り組み農林大臣表彰を受けたこともありました。このように早くからまちづくりに対する土壌がありました。これらは主に昭和40年代のことです。年月が経つと共にこれでよいのか、生活環境が大きく変わり見直しの声があがりました。住んでいる周辺には団地が多く建てられ若者は団地の方に移転する者もいました。何が原因なのか、冠婚葬祭のお付き合い、古いしきたりの踏襲等のわずらわしさがあります。そこで今度のまちづくりの取り組みは平成14年にウエルネス高溝宣言、「人が元気、まちが元気、自然が元気」をキャッチフレーズに、高溝に住んで良かったと思えるまちづくり、環境の整備、福祉の充実に細部の整備をしました。同時に名称も「高溝ロマンの里まちづくり」にネーミングも変え若者に夢と希望があるものにしていきたいとおもいからおおきく三つの事業展開をしました。高溝の歴史を若者に伝えるために「白鳳の里 たかみぞ」本題で製本ハード面でおもいでづくりとして「高溝ルミナリエ」手作り提灯を作成お盆前後まちの中を明々と照らしました。もう一つは昔の食を伝えておこうと、「高溝大食采会」も行いました。いろいろな意見を聞きながら本来のまちづくりにつなげていけるものは何かこれからも研究していかなばならないと思います。平成18年の大河ドラマ放映の時は今まで蓄えたまちづくりで全国発信して高溝を知って欲しい思いから「高溝孫作会」を会員24名で発足しました。「山内一豊・千代の忠臣 田中孫作の里 高溝」本を作成、孫作人形（土で作成）、孫作煎餅それぞれ作成道の駅、本は書店でも販売、ネットでも紹介全国までは行きませんでした。中々評判も良く嬉しい悲鳴でした。売り上げで出た利益で田中孫作生誕の地に「山内一豊・千代忠臣 田中孫作定重」の碑を建立、碑の除幕式は長老と共に、これから高溝を託す子ども達にさせていただきました。「一豊・孫作行列」も近江公民館主催・孫作会共催で盛大におこなわれNHKも放映されました。近年は高溝孫作会のメンバーが主体となり近江公民館主催の「古き良き伝統文化の再発見 花嫁行列と長持唄」の長持唄を伝統文化として伝えていきたいと取り組んでいます。まちづくりに終わりはありません。これからも前を見て進んでいきたいとおもっています。



「手作り紙芝居」活動について

湖北支部 第31期 地域文化学科 上野 英子

レイ大同窓会に仲間入りさせて頂き、二月余りが過ぎました。レイ大での二年間、自分の足元、滋賀県内の歴史・文化等を再認識させて頂き、物を見る目を養うことができ、喜んでいきます。これからは、レイ大で学んだことを基に、地域活動に、頑張っていきたいと思っています。同窓会の皆様には、今後とも、ご指導頂きますよう、お願い致します。

さて、本題の「手作り紙芝居」は、私の地元、長浜市湖北町の小谷城で、浅井長政と織田信長の妹・市との間に生まれた、浅井三姉妹「茶々・初・江」を主人公にしてつくりました。

紙芝居の題名は、ずばり「浅井三姉妹物語」で、表紙を入れて、12枚で作っています。

内容は、織田信長の攻撃で、小谷城が落城するその年、浅井長政と市の三女・江の誕生により、小谷城が喜びに包まれるところから始まります。

その後、小谷城・北庄城と二度にわたる落城で、三姉妹の、父・母との悲しい別れを描いています。そして、豊臣家の世継ぎ秀頼の嬉しい誕生から、一転して、大阪城落城へと続き、最後に、江の幸せな、後半生を回顧しながら、物語は、終わっています。

この紙芝居は、通常の規格よりも、大きな用紙を使用していますので、箱は、主人に頼み、作ってもらいました。

レイ大卒業以来、紙芝居を、九月に、二回公演しました。

一回目は、九月十七日（金）に、長浜市湖北町上山田公民館で、公演させて頂きました。これは、レイ大の一年先輩・肥田嘉昭様からの、お話でありました。それで、再度、紙芝

居を、作り直しました。公演一週間前に、やっと、仕上がり、箱は、前日に、出来たと言う状況でした。

そのような状況の初演で、スムーズに運ばなかったのですが、皆さんに、熱心に見て頂き、ほっとしました。

「手作り紙芝居」は、中日新聞に掲載して頂き、久しくお会いしていない方々から電話や、手紙を頂いたり、また、公演の話の頂いたりして、感謝しています。又、レイ大卒業生の現状を知って頂くことになったことと思います。

二回目は、九月二十日（月）に、愛荘町の福祉センター愛の郷で、公演をさせて頂きました。

当日は、上山田での経験から、紙芝居の手伝いを、主人に頼み、私は、物語の内容を話すことに集中しました。お陰で、うまく出来たと、思っています。

まだ二回の公演ですが、十一月と十二月にも依頼を受けています。これからも、依頼があれば、出かけて行きたいと、思っています。

来年は、一月十五日（土）から、「江・浅井三姉妹博覧会」が、湖北の地で開催されます。レイ大同窓会の皆様方も、是非とも、お越しくださいますよう、よろしくお願い致します。



グループ活動愈々始動す

高島支部 第24期 文芸学科 富田 豊

平成21年10月に、レイカディア大学の休校問題が情報としてもちあがり、高島支部でもごくしゃくした空気が漂いましたので、今年度から、同窓会活動を活性化するために、下記のようにグループに分けて活動することにしたいと思います。それぞれのグループが自主的に考えて活動する。共に考え活動することによって、相互理解が深まり、親睦が深まると思います。ぜひどれかのグループに入ってくださいませようお願いいたします。

<クラブ活動グループ組織> 主な活動内容

- A. 健康活動クラブ グラウンドゴルフ、ウォキング等
- B. 研修・友愛クラブ 1日研修、文化財研修、親睦食事会、旅行等
- C. 文芸福祉クラブ 料理研修、文芸作品吟詠、福祉ボランティア、ヨシ笛教室
- D. 園芸クラブ 公営施設樹木剪定、草刈りボランティア等
- E. ミニ通信クラブ ミニ通信作成発行等

◆第20期以降の会員は必ず一人2クラブ以上に参加してください。

園芸クラブボランティア活動 高島支所前の剪定作業

高島市役所高島支所の玄関前の剪定をレイ大同窓会園芸クラブ一部長・横井川直之さん一が10月5日午前9時すぎにスタート。例年ですと4、5人ですのですが今年は同窓会員9名と32期生の現役のレイ大生3名も加わり総勢12名の参加で行われました。プロの剪定師のような北村政雄さんにいろいろと教えてもらったりして、みんな手際よくテキパキと剪定作業を行う。12時過ぎに昼食。午後1時15分に再開。5日と7日の2日間かかる予定でしたが12人も参加してくれたので午後3時半ごろには剪定した松葉の一本もないくらいにきれいに清掃。剪定作業終了。ご苦労さん。支所の方が大変喜んでくれました。

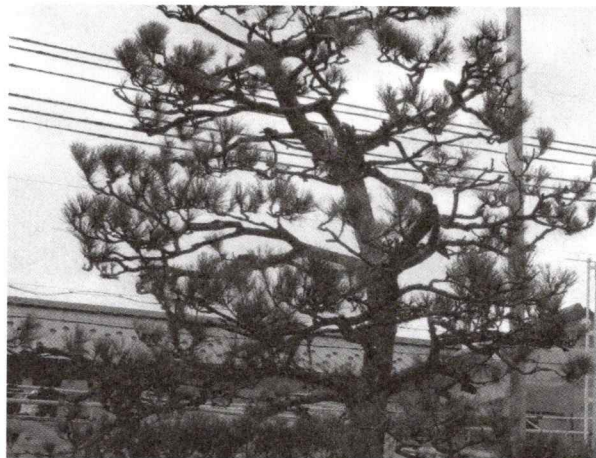


たくさんですると大変楽しい！

剪定が終わりほっと！



剪定前の松



剪定後の松

ボランティアをエンジョイしています
精神保健ボランティアグループ〇の会
 (わ)

2010年代表者 高島支部 第20期 スポレク学科 増田 道夫さん
 高島支部 第20期 生活科学学科 山形ひさ江さん
 高島支部 第23期 文芸学科 松本 直子さん

活動拠点 今津東コミュニティセンター

ボランティア会員25名うちレイ大生3名 男性3名女性22名

場所 今津東コミセン 2階大広間

日時 毎週 木曜日 午前10時～午後2時

私達25名は、心に病を抱える人達へ憩いの場を提供し、障害者との交流を通じて仲間以上の親密感が芽生え、のんびり自分のペースで過ごせるサロンで、気持ちが癒される時間を一緒に楽しみ、当事者とボランティアの垣根をなくしみんな仲間として当たり前の付き合いをしています。



野外レク

***精神障害に対する理解**

活動日時 毎週木曜日 午前10時～午後2時

心のボランティア講座、勉強会、交流会



食後のひととき

食後のレクリエーション活動

レクリエーションによる人と人との交流から楽しみを得るため、みんな仲間と一緒に、歌って踊って、囲碁や将棋、トランプなど、精神面の疲れを癒し心身の健康づくりを、目指している。



染色体験



カラオケの練習

***主な活動 (通常サロン外)**

ボランティア活動を通じて能率や合理性を美德とする今の社会の価値観とは別の人間関係を作ることができる。それがボランティアの一番大きな魅力だということを認識させられています。
 音楽療法 (カラオケ) 年4回/野外レク デイキャンプ1回/グランドゴルフ3回
 (精神的に障害があってもなくても、みんな仲間。年間計画もみんなで作っています。)

(取材者：富田)

みんなの広場

会員の消息、活動などを100字程度にまとめて報告する「みんなの広場」を新設しました。

大津市「まちなかスッキリ土隊」の活動

大津支部 生活科学学科 第21期 梅景 宏

平成21年度、大津市で「まちなかスッキリ土隊」が発足した。電柱等に貼っている違反広告物ビラを除却するボランティア活動である。

大津支部はいち早く団体登録をして活動を開始した。現在では76名が登録し腕章や身分証明書、除却道具を手に計画的に活動している。

大津祭り曳山ボランティア

大津支部 陶芸学科 第24期 市吉登美一

大津支部のボランティア部が応募し参加している、大津祭り「曳山ボランティア」は今年で4回目となる。年々応募者が増え、今年は17名が参加した。「大津祭り」を外から観るのも良いが、内に入って観るのも、より祭り文化が理解できて楽しいものだ。



私の活動近況

草津・栗東支部 スポレク学科 第26期 齋藤 功

現在、私はマジックやクラシックギターのグループに所属して、各地区の行事（例：敬老会など）はもちろん、上は特別養護老人ホームから下は幼稚園まで各施設に訪問し、多くの皆さんに楽しんで頂いています。

マジックの場合は、不思議とマジックを失敗した時の方が演者、観客の垣根が取れて一挙に空気が和むのも至福の時ですし、ギター音楽では人気の映画音楽、抒情歌演奏中における会場全体の一体感などはまさにボランティア冥利に尽きると言って良いでしょう。

これら適度の日々の忙しさと適度の楽しさがこれからも続いてくれることを願っています。

最近の情況

守山・野洲支部 園芸学科 第28期 住井 義征

県の温暖化推進活動を4年強しています。夫妻で毎月の二酸化炭素の目標数値を定めて、結果反省しています。来年古稀のせいか、町内、学校、会社OB会、ボランティアグループから役が廻り、毎月の行事予定を埋めつくす状況です。

レイカディア歩こう会

守山・野洲支部 文芸学科 第29期 宮崎 稔

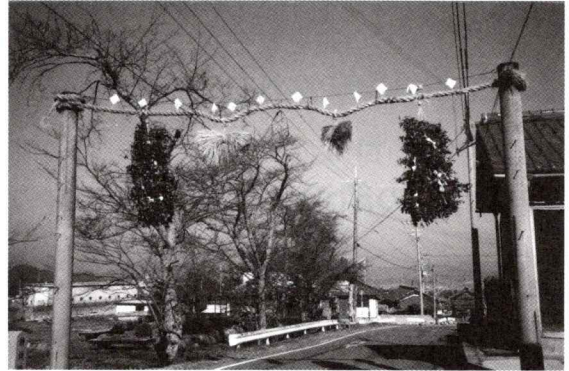
レイカディア大学米原校卒業生が、卒業後も俳画・俳句を学び且つ近江及び世界の歴史スポ

ットを巡り会員相互の啓発とその成果を歴史物語にして地域の子供に伝えたり地元の老人施設で俳句・俳画を教えたり活動を行っています。この6月『平城遷都1300年記念遣唐使の足跡を訪ねて西安・北京4日間の旅』に、守山・野洲支部の旗を借りて行ってまいりました。この旗を海外で広げて記念写真に収めた時の全員の感動は今も澁刺として新鮮です。

勸請縄吊

甲賀支部 生活科学学科 第21期 大西 幸

わが村の正月行事として一月九日、縄に飾りを付け結界と成し、村人が集い、五穀豊穡と災いごとがなきよう呪文を唱え、一年の無事を祈る。いつの時代からか途切れなく、何と優しい、けなげな姿であろうか。



高齢者のいきいき健康づくり教室

近江八幡支部 スポレク学科 第13期 吉澤 脩

平成十八年四月八幡学区社協より指導者としての要請あり。今年で五年目。目的は健康維持、生きがい、仲間作り。ニュースポーツ、レクダンス、体力測定等毎月第二水曜日により汗流して戴ける様にとレイ大スポレク卒の六名で頑張っています。

近江八幡支部 スポレク学科 第21期 田尻 英子

ふれあいサロンを開いて、今年で十年になりました。当時八十歳以上の方で、介護保険を利用していない、元気な人達を、見守る事として開きました。サロン利用者20名、亡くなられた方10名、現在10名の方が毎月利用・スタッフ3人で頑張っています。

文化祭に参加

中部支部 文芸学科 第26期 青木 忠雄

恒例になっております能登川文化祭が今年も10月末に開催されました。公民館と小学校の体育館に多くの文化作品が出展されました。

レイ大のコーナーも設けられ多くの同窓生の作品42点がところ狭しと飾られレイ大の存在感を高めておりました。

趣味の会の楽しみ

中部支部 文芸学科 第28期 西村 輝彦

東近江市伊庭町の長寿会の趣味の会として毎日連句、俳句、川柳、冠句、短歌を投句し全員で選句し時々の作品の心を語り合っております。会報も百五十号を越え頭の体操も兼ねて十七名が楽しんでおります。

近江の歴史と文化を求めて

湖東支部 文芸学科 第26期 根岸 順子

歴史文会（近江の歴史と文化をたずねる会）発足から、その運営のお手伝いに携わって三年が経ちましたが、この滋賀県には様々な歴史と文化が蓄積されており、汲めども尽きない興味をもって見聞を広めております。まさに「江山満目悉吾師」の思いが深まります。

石仏との出会い

湖東支部 文芸学科 第26期 山岡 昇

人それぞれでしようが、私は山野にねむる石仏や石塔に出会うひと時が、一番こころ落ち着くやすらぎと空間を与えてくれます。もう20年あまりになるでしょうか、今もなお県内から県外へと暇を見つけては石仏・石塔行脚を続けております。

天野川尻の環境美化ボランティア

湖北支部 生活科学学科 第25期 古野 宏

青空の下で、天野川尻の琵琶湖岸から眺める、湖上越しの比良山系の山並み、東には伊吹山など、素晴らしい景色の場所である。しかし、手を加えなければゴミの散乱・大きく伸びる雑草や葛のツルで、ただの荒地となる。その景色を維持するために、シルバー人材センターの「環境美化ボランティアの有志」の方々と共に、除草と流れ着いたゴミ・ポイ捨てのゴミ拾いを、年3回行っている。作業後、見渡す景色の素晴らしさに満足している。今後も世話役として続けて行きたい。

一つになって

湖北支部 園芸学科 第30期 遠藤 満代

レイカディア大学というすばらしい学校が（休校になるかもしれない）というニュースに、皆んなで一つになってがんばった。再開されることに決まった時は、心から「よかった！」という思いがこみ上げて来ました。

「今年が絶対チャンスよ」と誘った彼女は、今、米原校の一年生です。

江～姫たちの戦国～

湖北支部 地域文化学科 第30期 肥田 嘉昭

長浜市にある小谷城は、浅井家3姉妹の三女「江」を主人公とした来年の大河ドラマの舞台になる。五大山城のひとつ小谷城は、信長の攻撃で落ちた後は元の山に戻った。地元の人々の手でひっそりと守られてきた城跡が、今脚光を浴びている。私は小谷城のガイド「語り部」として小谷山を訪れて下さる観光客を心からもてなししたいと思っている。

社会の矛盾

高島支部 文芸学科 第24期 富田 豊

自然界において、人間だけがもつ「高度な知性」は、食糧や工業製品の大量生産を可能にし、それを効率化するさまざまな技術も発展させました。やがてその知性は傲慢へと変わり、自然を支配したいという欲望を肥大させていき、同時に足りるを知るという節度の壁も消えて、もっと欲しい、もっと豊かになりたいというエゴが前面に押し出され、ついには地球環境をも脅かすほどの状況に陥ってしまったわけです。



平成22年度 本 部 役 員



《滋賀県レイカディア大学同窓会》

役 職	氏 名	電話番号	備 考
会 長	戸之洞 貞 夫		湖北支部
副 会 長	小 林 仁 司		広報部長／守山・野洲支部
	岡 田 定 一		近江八幡支部長
事務局長	山 岡 昇		湖東支部長
会 計	青 木 忠 雄		中部支部長
常任理事	増 田 泰 男		研修部副部長／大津支部長
	国 松 功		総務部長／草津・栗東支部長
	小 林 仁 司		広報部長／守山・野洲支部長
	小 林 和 雄		研修部長／甲賀支部長
	岡 田 定 一		研修部／近江八幡支部長
	青 木 忠 雄		研修部／中部支部長
	山 岡 昇		研修部／湖東支部長
	田 中 孟		湖北支部
理 事	池 田 邦 治		総務部副部長／高島支部長
	岡 崎 一 郎		広報部副部長／大津支部
	斉 藤 治 子		総務部／大津支部
	千 代 幸 子		研修部／草津・栗東副支部長
	西 村 満 子		広報部／草津・栗東副支部長
	高 野 隆 男		広報部／守山・野洲副支部長
	加 藤 英 昭		研修部／守山・野洲副支部長
	小 林 龍 朔		総務部／甲賀副支部長
	木 村 榮 子		広報部／甲賀副支部長
	高 橋 一 男		総務部／近江八幡副支部長
	赤 尾 美 智 子		広報部／近江八幡副支部長
	西 村 輝 彦		広報部／中部副支部長
	澤 亨		総務部／中部副支部長
	外 村 輝 夫		総務部／湖東副支部長
	吉 田 広 蔵		広報部／湖東副支部長
	吉 田 英 治		研修部／湖北副支部長
山 口 忠 義		広報部／湖北副支部長	
松 本 敬 三		研修部／高島副支部長	
富 田 豊		広報部／高島副支部長	
監 事	黒 田 玲 子		守山・野洲支部
	青 木 信 男		守山・野洲支部

編集後記

同窓会の皆様新年明けましておめでとうございます。
昨年はレイカディア大学にとり激動の一年でした。

本會報でも「レイカディア大学再生の動き」として記述したが今日迄の経過の概略は

- 県は財政逼迫のためレイカディア大学に対し学生募集を中止し当面休校を発表。
- これに対し同窓会は直接県知事に大学継続を要望、卒業生・在校生の思いも届けられ、県は今日迄の地域社会の貢献に鑑み、卒業生・在校生と協働した運営を行う事で継続が決定。
- 大学運営に欠く事の出来ない条件として「サポート隊の創設」「運営経費の削減」「協働運営」が発表された。
そして編集会議でもこの問題は熱い議論を交わした。

今回も写真を多用しました従来のB5版を主流のA4サイズ化、少しでも読みやすい誌面作りに配慮した。

會報編集に当たりました広報部員一同は寄稿頂いた会員の皆様にご指導を受け多くを学ばせて頂きありがとうございます御座いました。ご迷惑をお掛いたしましたが、どうかご高覧、ご批評の程よろしくお願いいたします。

終わりに会員各位のご健勝を祈念し、一段の同窓会へのご支援とレイカディア大学が末永く存在する事を祈って止みません。

(文責 小林 仁司)

會報 第27号 編集委員

広報部長	小林 仁司 (守山・野洲支部)	
広報副部長	岡崎 一郎 (大津支部)	
広報部員	西村 満子 (草津・栗東支部)	高野 隆男 (守山・野洲支部)
	木村 榮子 (甲賀支部)	赤尾美智子 (近江八幡支部)
	西村 輝彦 (中部支部)	山本 敬治 (湖東支部)
	山口 忠義 (湖北支部)	富田 豊 (高島支部)

滋賀県レイカディア大学同窓会
『會報』 27号

発行：平成 23 年 1 月 15 日
編集：滋賀県レイカディア大学同窓会
同窓会事務局
〒525-0072
草津市笠山七丁目 8-138
(滋賀県レイカディア大学本部)

印刷：大津紙業写真印刷株式会社
〒520-2152
大津市月輪一丁目 9-33
TEL 077-544-0190(代)
FAX 077-543-1460

